

平成25年度庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会

日時：平成26年2月18日（火）午後1時30分～

場所：鶴岡市役所東庁舎1階 第5会議室

一 次 第 一

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 庄内南部定住自立圏共生ビジョンの改定について

(2) その他

4 閉 会

資 料

資料1 『定住自立圏構想』とは、庄内南部定住自立圏形成推進体制、経過とスケジュール、具体的連携項目について

資料2 共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

資料3 庄内南部定住自立圏共生ビジョン 改定案

庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

委員

敬称略

関係分野	所 属	職 名	氏 名	備考
医療	鶴岡地区医師会	事務局長	御橋 慶治	新任
	鶴岡地区歯科医師会	会長	荻原 聡	
子育て	鶴岡市民生児童委員連合会	会長	竹内 峰子	
福祉	鶴岡市社会福祉協議会	会長	難波 玉記	新任
産業振興	鶴岡市農業協同組合	理事参事	榎本 理	新任
	庄内たがわ農業協同組合	代表理事専務	齋藤 泰宏	
	赤川漁業協同組合	代表理事組合長	黒井 晃	
	鶴岡商工会議所	事務局長	小野寺 敏夫	新任
	出羽商工会	事務局長	小松 強	
	出羽庄内森林組合	参事	石塚 宗一	新任
	鶴岡市観光連盟	会長	三浦 惇	
	庄内地域産業振興センター	総務・企画課長	小林 時男	
	鶴岡青年会議所	委員	中村 季誉子	
住民代表	鶴岡市総合計画審議会	会長	石黒 慶一	
	鶴岡市総合計画審議会	副会長	東山 昭子	
	三川町振興審議会	会長	五十嵐 慶一	
	三川町振興審議会	会長職務代理者	熊田 洋勝	
	庄内町振興審議会	委員	佐藤 道子	
	立川地域審議会	会長	大瀧 力	

オブザーバー

三川町	企画調整課長	梅津 直人
	企画調整課課長補佐	齋藤 仁志
庄内町	情報発信課企画係主事	佐々木 一記

事務局

鶴岡市	企画部長	三浦 総一郎
	企画部企画調整課主査	佐藤 豊
	企画部企画調整課専門員	池田 勝人
	企画部企画調整課専門員	遠藤 誠
	企画部企画調整課主事	大川 和之

1. 『定住自立圏構想』とは（総務省ホームページより）

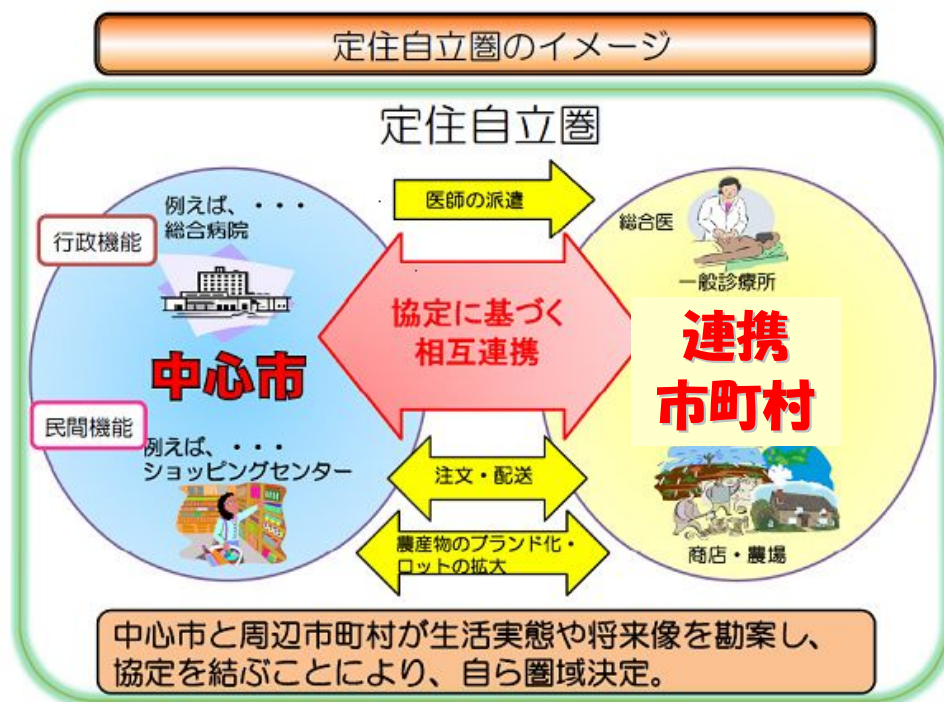
我が国は、今後、総人口の減少及び少子化・高齢化の進行が見込まれています。今後は、三大都市圏でも人口減少が見込まれますが、特に地方においては、大幅な人口減少と急速な少子化・高齢化が見込まれています。

このような状況を踏まえ、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフスタイルやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

市町村の主体的取組として、「中心市」の都市機能と「連携市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、NPO や企業といった民間の担い手を含め、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

平成 21 年 4 月から全国展開し、現在、各地で取組が進んでいます。

連携

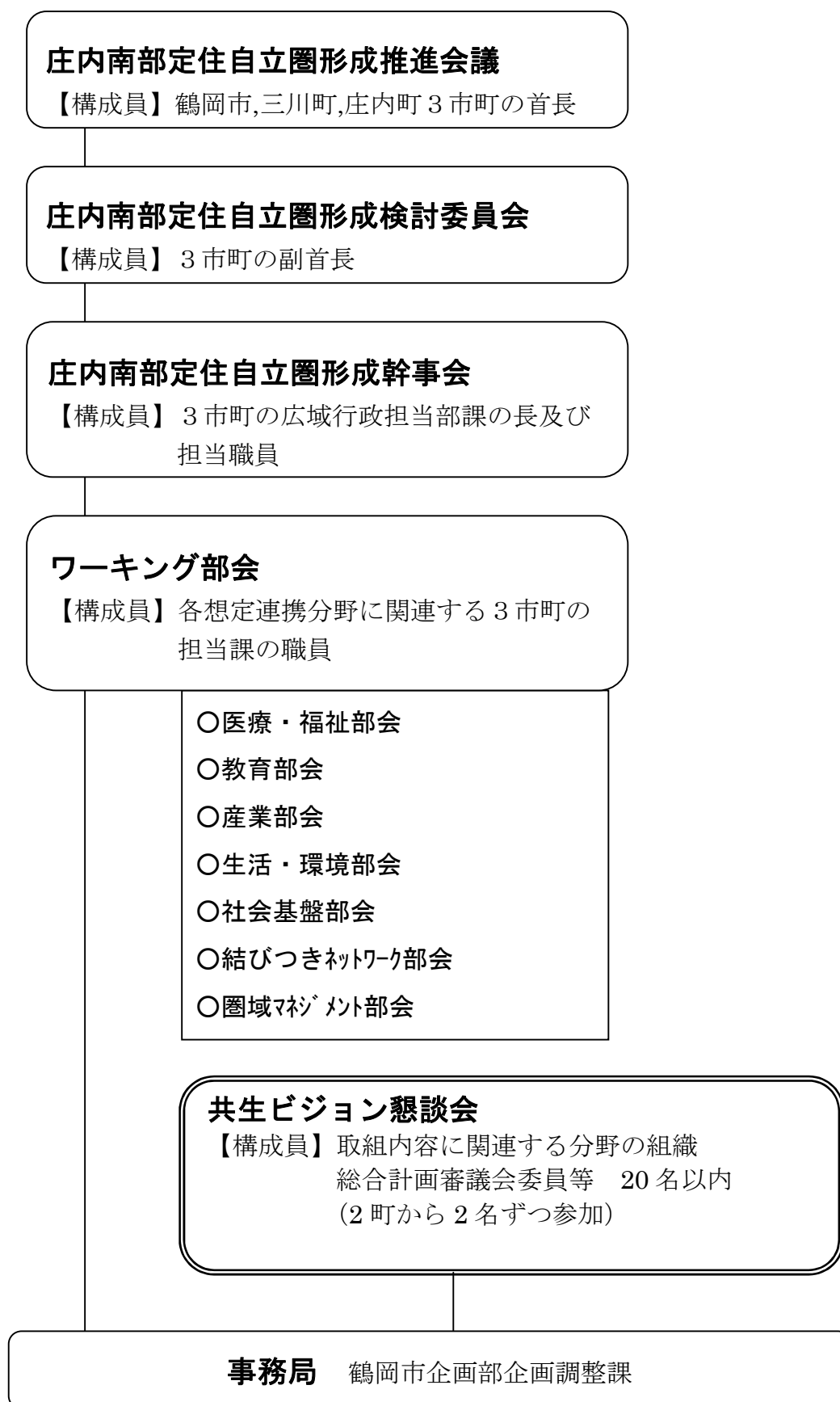


全国の実施状況

平成 25 年 9 月 30 日現在の状況は、次のとおりです。

・宣言中心市	87 市	中心市宣言を行った市の数
・定住自立圏	75 圏域	定住自立圏形成協定の締結又は定住自立圏形成方針の策定により形成された定住自立圏の数
・ビジョン策定市	76 市	定住自立圏共生ビジョンを策定した宣言中心市の数

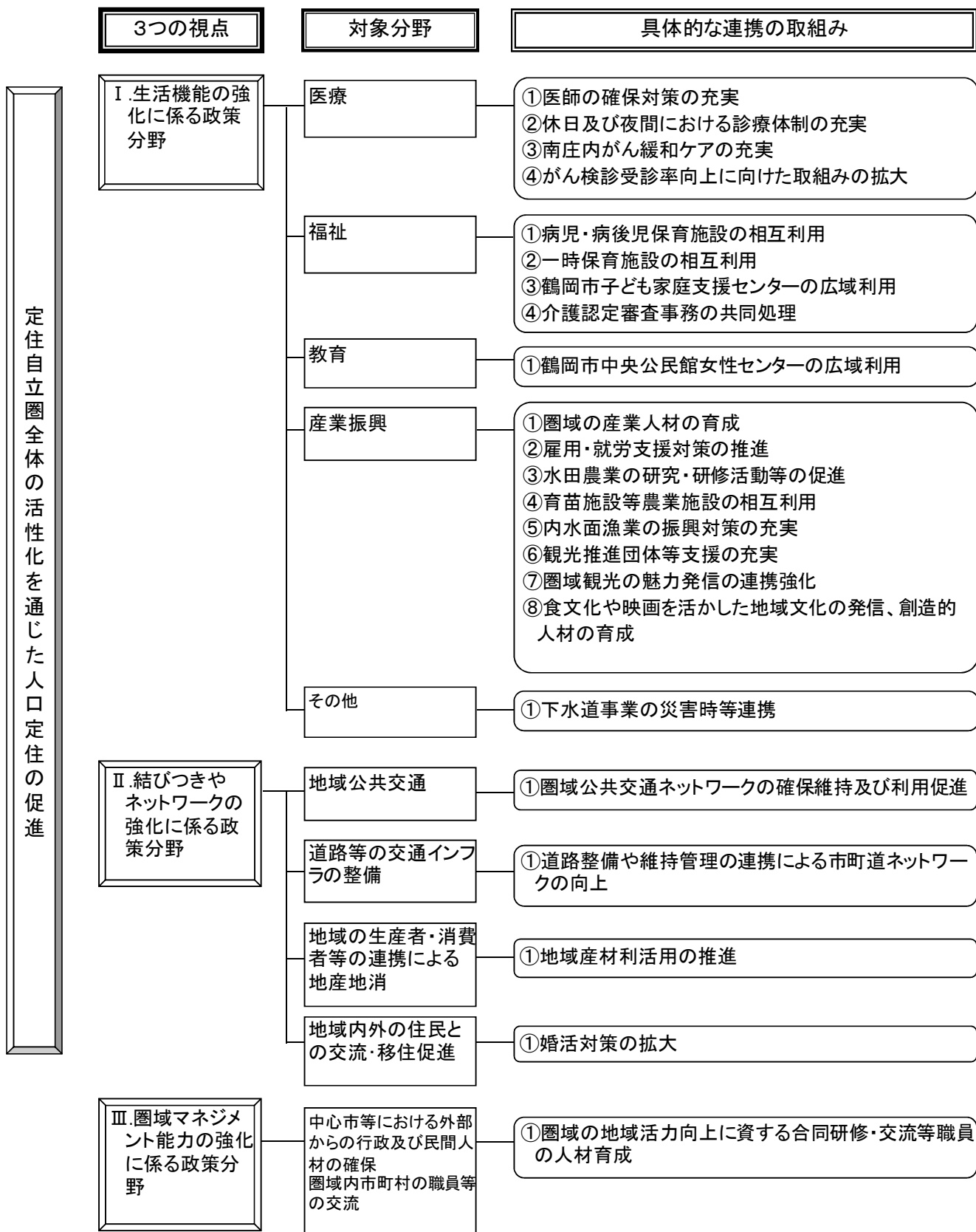
2. 庄内南部定住自立圏形成推進体制



3. 庄内南部定住自立圏形成までの経過とスケジュール

H24	3月	中心市宣言 平成24年3月22日	
	4月	幹事会の開催(4.25)	○全体スケジュールについて ○ワーキング部会の持ち方について
	5月	ワーキング部会の開催	○協定項目、役割分担等の検討
		先行事例の視察(山形市)	
	6月	議決事件条例の議決	6月定例会
	7月	幹事会の開催(7.27)	○協定書(案)について ○今後の進め方について
		検討委員会の開催(7.31)	同上
	8月	推進会議の開催(8.10)	同上
	9月	形成協定の議決	9月定例会
	10月	形成協定の締結(10.5)	協定合同調印式
		協定書の公表	
	11月	幹事会の開催	○共生ビジョン懇談会について
第1回共生ビジョン懇談会の開催		○体制、協定内容等の確認 ○共生ビジョン素案へのご意見	
各市町財政当局へH25予算の要求			
12月	幹事会の開催	○第2回共生ビジョン懇談会について	
	第2回共生ビジョン懇談会の開催	○共生ビジョン案へのご意見	
H25	1月	幹事会の開催	○共生ビジョン案の全体調整
		検討委員会の開催	○共生ビジョン案について
	2月	推進会議の開催	同上
		パブリックコメントの実施	
	3月	議会に対し共生ビジョンの内容説明	
		共生ビジョンの策定及び公表	
	4月～	共生ビジョンに掲載した取組みを実施	

4. 庄内南部定住自立圏の協定項目一覧



共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

荘内病院 総務課

対象分野名	医療
具体的取組み項目名	医師等の確保対策の充実
1. 実施状況及びその評価	<p>①医学生への修学資金貸与 将来的に当院に勤務する医師の確保に向け、修学資金貸与制度を25年4月に創設した。25年度の貸与者は3名(山形大学2名、新潟大学1名)。</p> <p>②オープンホスピタル事業 医学部・薬学部への進学を考えている高校生を対象に、23年度から開始した事業であり、3回目となる25年度は15名(医学部志望は9名)が参加し、7月31日に開催した(23年度のオープンホスピタルに参加した高校生のうち、1名が修学資金の貸与を受けている)。</p> <p>③病院説明会への参加 25年度に参加した説明会(今後の参加予定を含む)は、山形県病院ガイダンス(5月、山形市)、東北合同説明会(7月、仙台市)、レジナビフェア 2013 in東京(7月)、レジナビフェア 2014 in福岡(26年3月)、レジナビフェア 2014 in東京(26年3月)。説明会への参加に加え、全国の医学部から当院への医学生見学を積極的に受け入れたことなどもあり、26年度の研修医の募集定員5名に対し、26年4月から5名を受け入れる結果となった。</p> <p>④ステューデント・ドクター(診療参加型臨床実習医学生) 医師の県内定着を図ることなどを目的として、山形大学医学部が実施している臨床実習医学生(5年生、6年生)の受入れを25年1月から開始した。25年1月～7月まで16名(各々4週間の期間)を受入れたところであり、26年1月～7月までは11名を受け入れる予定である。 なお、新潟大学医学部からの受入れ(4月～)についても、荘内病院の受入れ診療科を提示している。</p>
2. 課題	医師の確保に向け、各種施策を強力に推進していく必要がある。
3. 記載内容の改訂 必要有無※	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし
4. 今後の方向性	想定している事業(医学生への修学資金貸与、オープンホスピタル、病院説明会への参加、ステューデント・ドクター、大学への働き掛けなど)を通じて、医師の確保を図っていく。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調査

担当課名 健康課

対象分野名	医療																																																								
具体的取組み項目名	休日及び夜間における診療体制の充実																																																								
1. 実施状況及びその評価	<p>鶴岡市が設置する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所について、圏域内の初期救急医療施設として認知度を高めるとともに、他の二次・三次救急医療機関も含めた適切な利用を促進するため、普及啓発の取組みを行うもの。</p> <p>今年度の圏域としての取組みは、鶴岡市と庄内町において広報紙及びホームページに両診療所の情報を掲載したほか、協定締結以前に引き続き、両診療所の指定管理者である法人の会員として、鶴岡市と三川町が診療所の運営に関わっている。</p> <p>協定締結以前と以後の市町別受診者数の比較は下記のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">休日夜間診療所</th> <th colspan="4">休日歯科診療所</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H25(A)</th> <th>H24(B)</th> <th>(A)-(B)</th> <th></th> <th>H25(A)</th> <th>H24(B)</th> <th>(A)-(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>1,901</td> <td>2,490</td> <td>-589</td> <td>鶴岡市</td> <td>136</td> <td>164</td> <td>-28</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>69</td> <td>68</td> <td>1</td> <td>三川町</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>41</td> <td>34</td> <td>7</td> <td>庄内町</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>83</td> <td>113</td> <td>-30</td> <td>その他</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>-6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,094</td> <td>2,705</td> <td>-611</td> <td>合計</td> <td>162</td> <td>197</td> <td>-35</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定住自立圏の構想が具体化する以前は、庄内町の患者数を集計していないため、各年度とも9月～12月の集計を比較した。</p> <p>鶴岡市や合計が減少しているにも関わらず、三川町と庄内町の数は横ばい又は増加しており、両町においても一定の周知は図られていると考えられる。</p>	休日夜間診療所				休日歯科診療所					H25(A)	H24(B)	(A)-(B)		H25(A)	H24(B)	(A)-(B)	鶴岡市	1,901	2,490	-589	鶴岡市	136	164	-28	三川町	69	68	1	三川町	2	2	0	庄内町	41	34	7	庄内町	4	5	-1	その他	83	113	-30	その他	20	26	-6	合計	2,094	2,705	-611	合計	162	197	-35
休日夜間診療所				休日歯科診療所																																																					
	H25(A)	H24(B)	(A)-(B)		H25(A)	H24(B)	(A)-(B)																																																		
鶴岡市	1,901	2,490	-589	鶴岡市	136	164	-28																																																		
三川町	69	68	1	三川町	2	2	0																																																		
庄内町	41	34	7	庄内町	4	5	-1																																																		
その他	83	113	-30	その他	20	26	-6																																																		
合計	2,094	2,705	-611	合計	162	197	-35																																																		
2. 課題	<p>他の救急医療機関の受診状況も含めての分析となるが、受診者数の増減は両診療所の認知度を示す指標の一つとはなるものの、特に休日夜間診療所の受診者数は、インフルエンザや感染性胃腸炎等の流行性疾患の状況に大きく左右されるため、受診者数の増減のみをもって両診療所の認知度を判断することはできないことから、事業の効果を検証する手法が課題となる。</p> <p>また、住民の健康増進の観点からは、両診療所を含め救急医療機関の受診者数は、当然ながら少ないほうが好ましいことも、事業効果を検証する際に考慮する必要がある。</p>																																																								
3. 記載内容の改訂必要有無※	あり ・ なし																																																								
4. 今後の方向性	<p>二次・三次救急医療機関の医師の負担を軽減する観点からも、両診療所をはじめとする救急医療機関の適切な利用の促進のため、3市町で更に連携を強めながら普及啓発事業に取り組む。</p>																																																								

※事業費見込みのみの改定の場合を含む

共生ビジョンの見直しに関する取組み調査

担当課名 庄内病院地域医療連携室

対象分野名	医療																														
具体的取組み項目名	がん緩和ケアの充実																														
1. 実施状況及びその評価	<p>○国の補助を受け、平成20から22年度まで3年間実施した本事業を、平成23年度から「南庄内緩和ケア推進協議会」を立ち上げ事業を引き続き実施している。同協議会では、4つあったワーキンググループを「教育」「啓発」「連携」の3つに集約し、活動を展開しており、これらの活動を通じ、医療関係者や介護・福祉関係者の顔の見える関係が構築され、円滑な情報共有、関係者のスキルアップや、市民の理解が図られ、緩和ケアの推進に寄与している。また、平成25年度からは、緩和ケアの対象疾患を「非がん」にも拡大し、活動を展開している。</p> <p>○活動実績と計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度 (4～11月実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スキルアップ研修</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>症例検討会</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>市民啓発活動</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>地域連携活動</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアに関する相談件数</td> <td>213</td> <td>206</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>退院カンファレンス(人)</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>			活動内容	23年度	24年度	25年度 (4～11月実績)	スキルアップ研修	4	4	3	症例検討会	11	11	7	市民啓発活動	15	16	11	地域連携活動	19	17	10	緩和ケアに関する相談件数	213	206	160	退院カンファレンス(人)	23	21	17
活動内容	23年度	24年度	25年度 (4～11月実績)																												
スキルアップ研修	4	4	3																												
症例検討会	11	11	7																												
市民啓発活動	15	16	11																												
地域連携活動	19	17	10																												
緩和ケアに関する相談件数	213	206	160																												
退院カンファレンス(人)	23	21	17																												
2. 課題	<p>○平成23・24年度は、フォローアップ研究費として、国からの補助を受けることができたが、今後、継続的に事業を展開する上で、安定的な財源の確保が重要となる。</p> <p>○緩和ケアに対する需要が増すと見込まれることから、これまでの事業の充実が一層求められるものであり、体制の確保が重要となってきている。</p>																														
3. 記載内容の改訂必要有無※	あり ・ <input type="checkbox"/> なし																														
4. 今後の方向性	○体制充実を図り、「教育」「啓発」「連携」の3つのワーキンググループを中心に事業を展開し、患者やその家族のみならず、在宅医療の担い手に対するサポートにも傾注し、緩和ケアの充実に努める。																														

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調査

担当課名

健康課

対象分野名	医療
具体的取組み項目名	がん検診受診率向上に向けた取組の拡大
1. 実施状況及びその評価	<p>○がん講演会 日時 平成 25 年 10 月 10 日(木)午後 1:15～3:30 会場 鶴岡市文化会館 参加者 700 人 内容 2名の講師による「がん予防及び検診受診の重要性」についての講演</p> <p>○がん検診受診向上対策キャンペーン 日時 平成 25 年 10 月 26 日(土)10:00～17:00 27 日(日) 9:00～16:00 会場 複合商業施設(イオンモール三川) 参加者 3,000 人 内容 受診啓発ティッシュの配布、がん検診クイズ、健康チェック等 ※メタボ予防フェスタ(庄内保健所主催)と同時開催にて、参加者増の相乗効果を期待したもの</p> <p>○評価 2つの事業実施による受診率向上が図られたかの評価は現段階では難しいため、今後の申込状況や、受診状況等で評価をしていきたい。 これまで自治体間で連携し事業実施をすることがなかったため、3市町の共通課題について、共通認識を深め課題解決に向け一体的に事業実施に取り組むことで、住民への効果的かつ力強い啓発につながるものと考えられる。また、事業実施によって3市町の連携、及び保健所や医師会等関係機関との連携が深まっている。 事業実施のための準備、打合せ等を通じ様々な情報交換がなされ、定住圏事業以外の事業推進にも役立っている。</p>
2. 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーンは複合商業施設での実施のため、3市町以外の住民参加も考えられ、できる限りの参加者割合の把握を行い、効果的な実施を検討する必要がある。 ・がん講演会は 25 年度鶴岡市が中心になり取組んだが、業務のボリュームが大きいことから、3市町で分担し取組む必要がある。(※キャンペーンは、協定前の先行実施。25 年度は 2 回目)
3. 記載内容の改訂必要有無※	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし
4. 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン実施時、がん検診クイズ参加者の居住地把握(○をつけてもらう)を行い、全体の参加者動向を推定する。 ・がん講演会、キャンペーンについては5年間継続し実施する方向で協議し、2つの事業を一つの市・町だけが担当するなど偏らないように分担する。 <p>平成 26 年度は、がん講演会は庄内町が担当し、キャンペーンは鶴岡市が担当する。</p>

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

子育て推進課

対象分野名	福祉
具体的取組み項目名	病児・病後児保育施設の相互利用
1. 実施状況及びその評価	<p>鶴岡市で設置している『カトレアキッズルーム』と三川町で設置している『にこっと』で、鶴岡市、三川町、庄内町の住民が相互に利用できるようにしている。</p> <p>○周知 鶴岡市子育て推進課窓口で『にこっと』の紹介もしている。</p> <p>○平成25年度（4～11月）の利用実績 病児保育：『にこっと』の利用人数153人の内、41.2%の63人の利用が鶴岡市民である。</p> <p>病後児保育：『にこっと』の利用人数46人の内、63.0%の29人の利用が鶴岡市民である。</p> <p>○評価 鶴岡市民にとって、市内のカトレアキッズルームで受け入れできないときでも、隣町である三川町の『にこっと』で受け入れてもらえるので、非常に有難い。</p>
2. 課題	受け入れできる人数に限りがあるため、希望する日時に利用できないこともある。しかし、受け入れ人数を増やすことは現実として難しい。
3. 記載内容の改訂必要有無※	<input type="checkbox"/> あり ・ なし
4. 今後の方向性	今後も継続していく。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

子育て推進課

対象分野名	福祉
具体的取組み項目名	一時保育施設の相互利用
1. 実施状況及びその評価	<p>三川町のいのこ保育園、庄内町の4保育園と鶴岡市の12保育園が実施する一時預かりについて、他市町の住民が相互に利用できるようにしている。</p> <p>○平成25年度(4～11月)の利用実績 三川町いのこ保育園での利用人数146人の内、32.9%の48人の利用が鶴岡市である。 庄内町の保育園では利用実績がない。</p> <p>○評価 鶴岡市民にとって、隣町である三川町のいのこ保育園は利用しやすいと、特に評価が高い。</p>
2. 課題	<p>利用できる人数に限りがあるため、鶴岡市の保育園の一時預かりは鶴岡市の住民だけで定員に達してしまい、三川町、庄内町の住民がなかなか利用できない。 また、受け入れ態勢が整わないので、周知することができない。</p>
3. 記載内容の改訂必要有無※	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし
4. 今後の方向性	<p>今後も継続していく。 受け入れ態勢を整えながら、広く圏内の住民へ周知していきたい。</p>

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

子育て推進課

対象分野名	福祉
具体的取組み項目名	鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用
1. 実施状況及びその評価	<p>○育児講座 日時:平成25年6月12日(水) 11月14日(木) 場所:総合保健福祉センター 大会議室 参加者 44組の親子 内容:「子どもの育ちとだだこね」のテーマで、1歳半から3歳位までの保護者が対象 保護者が子どもの発達を知り、その対応の仕方を学ぶ講座(子どもの託児付き)</p> <p>○遊びの広場の利用と育児相談 日常的に午前9時から午後4時までの利用時間で「なかよし広場」で子どもを遊ばせながら保育士、保健師に相談することができる。また、電話での相談も受けている。 平成25年4月から12月末現在までの相談件数 1464件</p> <p>○評価 遊びの広場は、市民に関わらず利用できるようにしているため親子で楽しい時間を過ごす場となっていて評判が良い。 育児相談については、どこの住民であってもまた電話や匿名での相談も受け入れているため子ども家庭支援センターの育児相談件数の中に含まれており、三川町、庄内町の相談件数はわからない。今後も鶴岡市民に関わらず広域に育児相談を受けていきたい。</p>
2. 課題	「育児講話」は、申し込みがあれば受け入れる体制にはなっているので、三川町、庄内町への周知の仕方を考えていきたい。
3. 記載内容の改訂必要有無※	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし
4. 今後の方向性	<p>受け入れる事業を増やし、悩んでいる親に対する子育て支援事業を広げて行きたい。</p> <p>育児相談の内容によっては関係機関への連絡を行い、悩みを抱えている親が孤立しないようにしていきたい。</p> <p>鶴岡市、三川町、庄内町が子育てしやすく住みやすい地域となるように、連携を深めていきたい。</p>

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

長寿介護課

対象分野名	福祉
具体的取組み項目名	介護認定審査事務の連携
1. 実施状況及びその評価	<p>鶴岡市が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、三川町の住民も対象として継続して実施しており、介護保険事業の効率的な運営が図られている。</p> <p>介護認定審査会は、15の合議体にわかれ、1合議体当たり6名の委員を配置し、うち4名の委員により1回の合議体を構成する。1回当たりの合議体では、40件を基本に審査している。1週に5回(月2回、火1回、木2回)の開催とし、うち三川町分については、木曜日の1回で約10件ずつの審査となっている。</p>
2. 課題	特になし。
3. 記載内容の改訂必要有無※	あり・ <input type="checkbox"/> なし
4. 今後の方向性	今後も、継続して鶴岡市は三川町の委託を受け、事務を行う。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調査

担当課名

中央公民館

対象分野名	教育
具体的取組み項目名	鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用
1. 実施状況及びその評価	<p>○実施状況 平成25年度女性センター主催講座について、三川町及び庄内町の住民を対象に加えた。</p> <p>12月末現在実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春季講座・・・鶴岡市 62名、三川町 0名、庄内町 0名 5講座(ヨガ、筋トレ、かな書道、切り絵、夏帯づくり) ・秋季講座・・・鶴岡市 52名、三川町 3名、庄内町 2名 6講座(絵手紙、ポーセラーツ2回、落書き日記、リフレクソロジー、体操) ・短期講座・・・鶴岡市 159名、三川町 1名、庄内町 9名 15講座(おうち御膳料理教室 6回、スイーツ 4回、メイク 2回、Xmasリース) ・男性料理講座・・・鶴岡市 35名、三川町 2名、庄内町 1名 3講座(和食、そば打ち、かつ丼) ・資格取得準備講座(調理師)・・・鶴岡市 24名、三川町 0名、庄内町 2名 ・就業支援パソコン講座・・・鶴岡市 9名、三川町 0名、庄内町 0名 <p>○評価 平成25年度から新たに三川町・庄内町2町の住民も対象とし、事業を展開したところ全体で 20名(全受講者 361名中5.5%)の申込があったことから、2町の住民に対しても学習の場の充実、広域的交流の場の提供に資することができた。</p>
2. 課題	<p>各町の広報掲載については、ボリュームの関係で単発講座に限られた。 女性センターの場所が分かり辛いため、土地勘のない人への案内に苦慮した。</p>
3. 記載内容の改訂必要有無※	<p style="text-align: center;">あり ・ なし</p>
4. 今後の方向性	<p>単発以外の講座についても、市HPの閲覧を促す広報をするなど、より一層の周知に努める。 講座の受講をきっかけに、サークル加入や貸館などで利用の拡大を図り、圏域全体の学習活動の向上に繋げる。</p>

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

商工課

対象分野名	産業振興
具体的取組み項目名	圏域の産業人材の育成
1. 実施状況及びその評価	<p>圏域の産業人材育成のため(公財)庄内地域産業振興センターが主体として実施する地域産業の競争力向上と事業の高度化に資するための人材育成事業に対し支援(運営費・受講費の一部補助)を実施している。</p> <p>平成 25 年度は、階層別、職能別、ビジネススキルの向上、情報系、CAD等の分野で 17 講座、200 人の受講予定者を想定し、人材育成事業を計画し実施している。</p> <p>圏域住民、圏域企業へのPRも積極的に実施し、広く参加者を募って事業を実施しており、圏域企業間の交流及び圏域内の企業の活性化、さらには人材育成に一定の効果があったと思われる。</p>
2. 課題	<p>企業数や人口規模等も影響し、鶴岡市からの参加企業、参加者が圧倒的に多い状況にあることから、さらに三川町、庄内町へのPRを強化する必要がある。</p> <p>人材育成事業への参加者は、1市2町からのみでなく、その他の市町からの参加者もいるため、事業費負担の按分割合の算出方法をどのように決定するかが課題である。</p>
3. 記載内容の改訂必要有無※	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし
4. 今後の方向性	<p>関係市町村の企業、参加者等のニーズを把握し、講座内容に反映させながら、継続して実施する。</p>

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

商工課

対象分野名	産業振興
具体的取組み項目名	雇用・就業支援対策の推進
1. 実施状況及びその評価	<p>鶴岡市が設置する鶴岡ワークサポートルームにおいて、鶴岡市と三川町が連携し、在宅での仕事を希望する方のため内職相談員を設置し、求職者の相談、求人開拓、あっせん事務を実施するもの。</p> <p>平成 25 年 4 月から 12 月までの延相談件数は 3,037 件で、うち鶴岡市が 2,940 件、三川町が 97 件となっている。また内職をあっせんした件数は 145 件で、うち鶴岡市が 138 件、三川町が 7 件となっている。</p> <p>圏域内で在宅での仕事を希望する方々へ内職をあっせんすることにより、収入の確保による安定した生活への支援につながっている。</p>
2. 課題	<p>この事業は、鶴岡市と三川町が連携して行っている事業であるが、相談に訪れる方の中には、庄内町を含む他市町村の方も若干名見受けられる。こうした方の相談を受けることはできるが、他市町村分の内職求人は持ち合わせていないため、内職のあっせんをすることができない状況にある。</p>
3. 記載内容の改訂必要有無※	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし
4. 今後の方向性	<p>今後も在宅での仕事を希望する方々に内職をあっせんするため、積極的な求人開拓を行い、継続して事業を実施していく。</p>

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名	農政課
------	-----

対象分野名	産業振興
具体的取組み項目名	水田農業の研究・研修活動等の促進
1. 実施状況及びその評価	<p>H25.5月～11月 わんぱく農業クラブを月一回(計7回)山大農学部高坂フィールド科学センターで実施</p> <p>H25.6.26 庄内水田農業推進機構総会の開催 ・規約の一部改正を行い、三川町、庄内町を加える。</p> <p>H25.12.12 ワークショップの開催「イネ紋枯病の現状と防除方法」</p> <p>H26.2.20 フォーラムの開催(予定)「水田農業の新たな展開」</p> <p>わんぱく農業クラブへの三川町・庄内町からの参加はなかった。 ワークショップは、三川町・庄内町からの参加を得て、行われた。 フォーラムのパネリストとして三川町の農家の出席を予定している。</p>
2. 課題	水田農業の推進を図るための共通した施策の検討
3. 記載内容の改訂必要有無※	あり ・ なし
4. 今後の方向性	引き続き、事業への参加を通して、共通施策の検討を進める。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

農政課

対象分野名	産業振興
具体的取組み項目名	育苗施設等農業施設の相互利用
1. 実施状況及びその評価	<p>平成 25 年度での実績なし</p> <p>JA 庄内たかわ及び JA 鶴岡から平成 26 年度予算要望として、花卉育苗施設利用に関する助成への要望があった。</p> <p>平成 26 年度予算に特産物生産推進支援事業として園芸作物種苗導入支援事業補助金の中に花卉苗助成を予定している。</p> <p>今後、事業に向けた JA・花卉生産者との協議を計画している。</p>
2. 課題	花卉栽培の農家数及び栽培面積の拡大
3. 記載内容の改訂 必要有無※	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
4. 今後の方向性	花卉栽培農家の意向を踏まえた、育苗の安定供給を推進する

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

農山漁村振興課

対象分野名	産業振興
具体的取組み項目名	内水面漁業の振興対策の充実
1. 実施状況及びその評価	<p>内水面漁業協同組合では、アユやサクラマスなどの釣り人等からの遊漁料収入を財源として、サクラマスやアユ等の種苗の放流による魚族の増殖と、河川監視や産卵場造成による漁場環境保全の活動を行っている。</p> <p>また、小学生を対象とした稚魚放流による水産資源保護、環境保全意識の啓発の活動を進めている。</p> <p>しかし、近年遊漁料収入が減少傾向にあり、また、組合員の減少と高齢化により運営が厳しい状態にある。</p> <p>このため、1市2町が連携して補助金を交付して支援することで、内水面漁業の振興が図られている。</p>
2. 課題	
3. 記載内容の改訂必要有無※	あり・ <input type="checkbox"/> なし
4. 今後の方向性	今後も連携して、内水面漁業の振興を図っていく。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

観光物産課

対象分野名	産業振興
具体的取組み項目名	観光推進団体等支援の充実
1. 実施状況及びその評価	<p><赤川花火大会への支援> 観光客のさらなる誘客を目的に、開催日を平成 25 年度より 8 月の第3土曜日に日程を固定した結果、25 年度(8 月 17 日開催)は、前年比 8 万人増加の 33 万人の入込数を記録した。 平成 25 年度事業費 鶴岡市 10,000 千円 三川町 300 千円</p> <p><出羽三山地区観光開発促進期成同盟会負担金> 月山登山のピークを迎える 7 月にシャトルバスの運行や駐車場の交通誘導などを行うとともに、登山道の公衆トイレの維持管理、給水事業などを行い、観光客の受け入れを行うとともに、現状把握と今後の対策に向けた交通量調査を実施した。 平成 25 年度事業費 鶴岡市 260 千円 庄内町 200 千円</p>
2. 課題	赤川花火大会については、全国の花火大会の人気ランキングで上位にランクされ、雑誌やテレビなどの各メディアからの注目も高まっており、出羽三山についても、平成 26 年は羽黒山午年御縁年にあたるなど、パワースポットとして注目を集めることから、観光客増が予想され、事故などが発生しないように観光客の受け入れ体制を整備する必要がある。
3. 記載内容の改訂必要有無※	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし
4. 今後の方向性	両事業とも、来年度以降も継続的に実施することで、観光推進団体への支援を通じて、観光客の誘客、観光地等の施設整備に努める。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

観光物産課

対象分野名	産業振興
具体的取組み項目名	圏域観光の魅力発信の連携強化
1. 実施状況及びその評価	<p><魅力発信事業> 出羽商工会による月山周辺のパワースポットをまとめた新しいパンフレットの作成を支援し、関係機関へ配布した。 また、同会のブランディング事業として、月山周辺地域の農産物を新たなブランド「月山野菜」としてPR並びに販売する事業に対し、支援を行った。 平成25年度実績 鶴岡市 100千円 庄内町 100千円</p> <p><伝統芸能祭開催事業> 来年度以降の実施に向けて、広域観光団体などの会合の場において、関係者や団体間で情報交換を行った。</p>
2. 課題	平成25年度からの事業であることから、定着にむけて継続的に実施する必要がある。
3. 記載内容の改訂 必要有無※	あり ・ なし
4. 今後の方向性	両事業とも、来年度以降も実施することで、観光客の誘客拡大や伝統文化のさらなる発展などを旨とする。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調査

担当課名

政策推進課

対象分野名	産業振興
具体的取組み項目名	食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成
1. 実施状況及びその評価	<p>H24 年の総務省事業に引き続き、総務省定住自立圏等推進調査事業(委託事業)の採択を受け、「映像資源を活用した地域連携・活性化事業」として、以下の事業を実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 創造的映画人材の育成 2 地域映画の制作 3 地域の食に関する新たな映画素材の発掘 4 映画・映像を活用した広域的なまちづくり研究 <ul style="list-style-type: none"> ・1の人材育成事業においては「半農×半映画プロジェクト」として県外在住者を対象として実施する俳優・シナリオワークショップへ、多くの参加応募があり選考により参加者を絞らざるを得ないほどの盛況となり、参加者の「農」への興味が強く、農業体験・交流を通して新たなライフスタイルを考える機会を提供することができた。 ・ワークショップ参加者が庄内キネマ制作委員会が手掛ける映画作品への出演し、H24年に制作した映画がH25年秋から全国公開となっている。また、H25年のワークショップ参加者は委員会の第4回作品への出演を予定している。 ・食文化に関連したテーマの映画を継続的に制作し情報を発信していくために、その素材となる地域の特色ある食材の魅力発掘を目的としたアーカイブ制作を行っており、「はたけの味」「たんぼの味」に続く、第3弾「はまべの味」を年度内に発刊予定である。
2. 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金等を活用しての事業展開を行っている現状のため、継続して実施するための資金の確保が課題となっている。
3. 記載内容の改訂必要有無※	あり ・ なし
4. 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は人材育成メニューなど、社会実験事業としての位置づけとして実施しているが、映画資源などより地域のポテンシャルを活かした創造的人材の育成、移住定住促進に向けた本格的な仕組み作りを検討していく必要がある。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

		担 当 課 名	下水道課
対象分野名	生活機能の強化 その他		
具体的取組み項目名	下水道事業の連携		
1. 実施状況及びその評価	<p>*平成25年度の5月、9月、12月にプラン策定に向けた下水道担当者による会議を開催し、下記目標とそれに伴う協議を実施。</p> <p>(1) 圏域全体の公用水域の水質保全と生活環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 下水道施設、下水道資材及び機器保有の現状把握。 ② 行政界を超えた既存下水道処理施設の横断的活用の検討。 ③ 将来に向けた下水道施設の共同整備の検討。 <p>(2) 災害時の汚水処理の迅速な対応</p> <p>流域下水道、公共下水道、農業集落排水施設の支援・応援体制等による対応について、圏域市町での相互連携の検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 民間との災害協定等の状況確認 ② 災害発生に伴う下水道施設の被災想定と対応方法の検討 		
2. 課題	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 今後、「行政界を超えた既存下水道処理施設の横断的活用」を図る手法の一つとして、市町村境界付近における土地開発計画が発生した場合に他自治体所有の既存処理場の相互活用の検討にあたっては、連携プラン策定後において計画状況を把握するための連絡会議(仮称)の設立が必要と考える。 ② 「将来に向けた下水道施設の共同整備の検討」を行うためには、圏域市町の施設の現況把握に加えて老朽化に伴う施設の改修・更新に基づく汚水処理機能の確保、計画方針等の調整が必要と考える。 		
3. 記載内容の改訂必要有無※	あり ・ なし		
4. 今後の方向性	策定された下水道事業連携プランに基づく事業を推進するため、圏域市町関係部局で構成する連絡会議(仮称)を設置し、事業課題の取り組みに係る具体的な検討、調整及び実施を行う。		

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調査

担当課名

地域振興課

対象分野名	地域公共交通																														
具体的取組み項目名	圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進																														
1. 実施状況及びその評価	<p>圏域の公共交通ネットワーク強化のため、交通事業者等関係機関と適宜協議を重ね、地域公共交通の実態を踏まえ、公共交通ネットワークの確保維持及びダイヤ改正など利便性の向上を図り、圏域内の交流の活性化に努めた。</p> <p>しかしながら、生活交通バス運行については、モータリゼーションの進展や少子高齢化、過疎化の進行等により利用率の低迷が続き、加えて燃料費の高騰等により、バス事業者の経営環境は年々厳しさを増している。このため、路線維持については関係市町の財政負担は増加傾向にある。</p> <p>路線別では、鶴岡(押切)酒田線は利用者ニーズと実態を踏まえ、既存の国県補助路線と統合することで財政負担の軽減が図られた。また、鶴岡(モール)清川線は輸送人員が増加したものの、燃料費高騰が原因で収支が悪化したため、補助金額が増加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>○鶴岡(押切)酒田線</td> <td>輸送人員</td> <td>H24</td> <td>25,493 人</td> <td>H25</td> <td>11,545 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助金</td> <td>H24</td> <td>1,922 千円</td> <td>H25</td> <td>1,554 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">※鶴岡市、三川町に係る分</td> </tr> <tr> <td>○鶴岡(モール)清川線</td> <td>輸送人員</td> <td>H24</td> <td>5,903 人</td> <td>H25</td> <td>6,725 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助金</td> <td>H24</td> <td>8,858 千円</td> <td>H25</td> <td>9,650 千円</td> </tr> </table>	○鶴岡(押切)酒田線	輸送人員	H24	25,493 人	H25	11,545 人		補助金	H24	1,922 千円	H25	1,554 千円				※鶴岡市、三川町に係る分			○鶴岡(モール)清川線	輸送人員	H24	5,903 人	H25	6,725 人		補助金	H24	8,858 千円	H25	9,650 千円
○鶴岡(押切)酒田線	輸送人員	H24	25,493 人	H25	11,545 人																										
	補助金	H24	1,922 千円	H25	1,554 千円																										
			※鶴岡市、三川町に係る分																												
○鶴岡(モール)清川線	輸送人員	H24	5,903 人	H25	6,725 人																										
	補助金	H24	8,858 千円	H25	9,650 千円																										
2. 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通ネットワークの確保・維持 ・利用者ニーズの把握によるダイヤ改正など、利便性向上の取組み ・お得な割引定期券など利用促進のための情報発信 																														
3. 記載内容の改訂必要有無※	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし																														
4. 今後の方向性	<p>引き続き、既存路線バスの利便性の向上と路線の確保維持のため、事業者や国、県への働きかけと、圏域での連携した取り組みとして、バス利用に関する情報を分かりやすく提供するための具体策を検討し実践することで利用促進を図る。</p>																														

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

土木課

対象分野名	道路等の交通インフラの整備
具体的取組み項目名	道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上
1. 実施状況及びその評価	<p>○実施状況 「橋梁」については、3市町全てにおいて「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しており、三川町については平成 25 年度よりこの計画に基づいた長寿命化対策工事に着手、平成 26 年度からは鶴岡市が、平成 27 年度からは庄内町でも同様の長寿命化対策工事に取り組む予定となっている。3市町の境界部に架かる橋梁(計6橋)の長寿命化については、関係自治体間で実施時期を検討しているところである。</p> <p>○評価 「橋梁長寿命化修繕計画」を策定したことで、点検や補修工事を計画的に行えるようになり、効率よく橋を管理していくことが可能になった。</p>
2. 課題	対象となる管理橋梁数が多く、計画期間が長期に及ぶため、事業期間の短縮が課題。
3. 記載内容の改訂 必要有無※	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし
4. 今後の方向性	交通インフラの長寿命化対策としては、橋梁のほか「トンネル」や「舗装」などにも取り組みたい。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調査

担当課名

農山漁村振興課・建築課

対象分野名	地域の生産者・消費者等の連携による地産地消
具体的取組み項目名	地域産材利活用の推進
1. 実施状況及びその評価	<p>地域材住宅の普及啓発の促進を図るため、鶴岡田川地域における新築住宅を対象に、庄内森林ネット鶴岡・田川の会員が住宅設計木材の調達、住宅建築のいずれかに関する場合に、スギ1等材 120mm×120mm×3.00mの天然乾燥材50本プレゼントを実施してきた。平成21年度3棟、平成22年度5棟、平成23年度3棟、平成24年度3棟、平成25年度3棟と5年間で17棟の建築に関わってきたことは大きな成果といえる。</p> <p>また、鶴岡市内の住宅建設関連事業者で構成されたつるおか住宅活性化ネットワークでは、地域産木材で構造材 70%以上を使用し、地元職人によって建てられた「つるおか住宅」のモデル的となりうる住宅、年間3棟に対して、平成23年度から25年度まで1棟当たり100万円補助を実施してきた。この完成見学会には年間400人以上の見学者が訪れており、年間数棟の会員事業者へ受注や住宅建設相談がきている。3カ年実施してきたモデル住宅9棟の地域産木材の総使用量は213㎡であり、立木約470本使用したこととなる。</p>
2. 課題	<p>50本プレゼントは建築の施工予定と関連が大きく、募集時期や期間・材料を乾燥させるタイミングが難しい。また、募集の周知方法に限りがあるので応募者が鶴岡市内にとどまっている。</p> <p>モデル住宅補助事業は、財政的課題から審査、選考された計画事業者のみとなっているため、事業件数が少ない。</p>
3. 記載内容の改訂必要有無※	あり ・ なし
4. 今後の方向性	<p>森林ネットの予算が限られており、引き続き50本プレゼントを実施していくことが可能かを協議していく必要がある。また、実施にあたって会員のメリットがあまり無いことも課題である。</p> <p>地域産木材の良さをアピールする「つるおか住宅」の普及を促進する必要がある。</p>

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

地域振興課

対象分野名	地域内外の住民との交流・移住促進
具体的取組み項目名	婚活対策の拡大
1. 実施状況及びその評価	<p>つるおか婚活支援ネットワーク（以下「ネットワーク」という）の対象を三川町、庄内町のエリアに拡大し、関係市町及び地域の企業・団体等が連携しながら、圏域内の未婚の男女に多くの出会いの場を提供するとともに、結婚に関するイベントやセミナー等の情報提供に努めた。</p> <p>また、ネットワークに登録している団体が主催する結婚に関するイベントやセミナー等に対して補助金による支援を行った。</p> <p>地域社会全体で結婚を後押しする環境づくりを進めるにあたり、地域の企業・団体等のネットワークへのさらなる登録促進が求められる一方、圏域内での婚活イベント等の開催実績については年々増加傾向にあり、多くの出会いの場の創出という観点では一定の成果が認められる。</p> <p>○ネットワークに登録している団体数（※H25.12月末現在） 合計51団体（内訳：鶴岡市49団体、庄内町2団体）</p> <p>○圏域内での婚活イベント等の開催実績（H25.4月～12月 ※セミナー含む） 合計48回（内訳：鶴岡市39回、三川町7回、庄内町3回） うち行政主催10回（内訳：鶴岡市8回、三川町1回、庄内町1回） ※参考：やまがた結婚サポートセンターHP</p>
2. 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の企業・団体等のネットワークへの登録促進 ・個々の団体が有するノウハウの共有化によるイベントの“質”の向上 ・婚活イベントやセミナーなどに関する情報発信機能の強化
3. 記載内容の改訂必要有無※	あり ・ なし
4. 今後の方向性	<p>引き続き、ネットワークを核に地域の企業・団体等との連携・強化を一層図りながら、未婚の男女に多くの出会いの場を提供するとともに、婚活イベントの情報提供や民間団体等が行う婚活イベント等への補助金による支援などにより、地域社会全体で結婚を支援する取り組みを行う。</p> <p>加えて、事業を通じた成婚者数を把握する仕組みづくりや情報発信機能の強化に取り組む。</p>

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

共生ビジョンの見直しに関する取組み調書

担当課名

職員課

対象分野名	圏域内市町の職員等の交流
具体的取組み項目名	圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成
1. 実施状況及びその評価	<p>時代の変化に対応しながら、既存の枠組みに捉われない新たな付加価値を生み出す施策を立案する能力を身につけることを目的として、地域の課題に対処する施策を立案する地域課題研究研修を圏域の市町が合同で実施した。</p> <p>平成25年度は、地域課題のメインテーマを「人口減少」とし、圏域の職員 24 名(鶴岡市:17名、三川町:3 名、庄内町:4 名)が 4 つの班に分かれ、「人口減少」に対処する施策を各班それぞれの視点から研究した事業提案書を作成し、プレゼンテーションを行った。</p> <p>研修は、班ごとのグループワークを中心として実施したことで、受講した職員間の活発な交流が図られた。</p>
2. 課題	特になし。
3. 記載内容の改訂 必要有無※	あり・ <input type="checkbox"/> なし
4. 今後の方向性	研修を受講した職員の政策立案能力の向上と職員間の活発な交流を図るために、研修内容や運営面の改善をしながら継続して実施する。

※事業費見込みのみの改定の場合を含む。

(案)

庄内南部定住自立圏共生ビジョン

平成25年3月

(平成26年3月一部改定)

鶴岡市

目 次

1 定住自立圏及び市町の名称	
(1) 定住自立圏の名称	1
(2) 圏域を形成する市町の名称	1
2 定住自立圏の将来像	
(1) 圏域の状況	1
(2) 圏域の将来像	4
(3) 市町の役割分担	4
3 定住自立圏共生ビジョンの期間	4
4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	
① 医療	5
② 福祉	9
③ 教育	13
④ 産業振興	14
⑤ その他	23
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
① 地域公共交通	24
② 道路等の交通インフラの整備	25
③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消	26
④ 地域内外の住民との交流・移住促進	27
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	
① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	28
② 圏域内市町の職員等の交流	28
5 共生ビジョン事業一覧表	30

1 定住自立圏及び市町の名称

(1) 定住自立圏の名称

庄内南部定住自立圏

(2) 圏域を形成する市町（構成市町）の名称

鶴岡市、三川町、庄内町

2 定住自立圏の将来像

(1) 圏域の状況

本圏域は、山形県庄内地方の中央から南部に位置しており、圏域の北部から中央部には広大な庄内平野が広がり、日本三大急流の最上川、最上川水系の立谷沢川、京田川、藤島川、赤川水系の赤川、大山川等の河川が貫流している。東部から南部にかけては、磐梯朝日国立公園に指定されている羽黒山、月山、湯殿山からなる出羽三山、朝日連峰、摩耶山系の山岳丘陵地帯である。西部は日本海に面して長い磯浜が形成されている。

圏域を構成する鶴岡市、三川町、庄内町は、寛文四年（1664年）に田川郡として一つの区域になるなど、昔から生活・経済・文化を一にする圏域として密接な関係を有している。

圏域の人口は16万8千人であり、面積は1594平方kmと山形県全体のそれぞれ14.3%、17.1%を占める。庄内空港、山形自動車道、日本海東北自動車道、羽越本線など、各高速交通網の整備が進んでいるが、一層の整備充実が望まれる。

近年は、こうした交通網の整備等により、圏域住民の交流は活発化しており、通勤・通学や買い物、医療・福祉など日常生活の結びつきはますます強まっている。一方で、地方全体の傾向として少子高齢化を伴った人口減少が進んでおり、当圏域も例外でない状況にある。

今後は、さらに圏域で連携協力し、住民が安心して暮らせる生活基盤を確保し、魅力ある地域づくりを進め、定住環境を整えていく必要がある。

【構成市町の概況】

鶴岡市

鶴岡市は、江戸初期に庄内藩14万石を領有した酒井家の城下町として発達し、本圏域における行政機能の中核を担い、文化の薫り高いまちを形成してきた。

現在は、平成17年10月の市町村合併を経て東北一広い行政面積を有し、四季折々の豊かな自然のなか、農林水産業を基幹とした産業を営み、鶴岡、藤島、羽黒、

櫛引、朝日、温海の各地域の多彩な特性を反映した様々な伝統文化や生活文化を築いている。

近年は、高速交通基盤の整備や高等教育機関の集積など、将来の発展に不可欠な基盤整備が進む一方、市域における安全安心な生活環境の整備、高等教育機関の活動と連携した産業振興や人材育成、広大な森林資源のもたらす恵み豊かな自然との共生の取組み、食をはじめ地域の歴史や文化を活かした活動などを力強く展開している。

鶴岡市は、庄内の中心的都市として、真の豊かさを求める新しい時代にふさわしい、人と暮らしと自然がいきいきと輝く、持続可能な希望あふれる地域の創造に努めている。

三川町

三川町は、庄内平野のほぼ中央、鶴岡市の北部に隣接する純農村地域にあって、永く稲作を中心とした農業に支えられ豊かな農村文化を育んできた。

現在は、農業を基幹産業にする一方、国道7号三川バイパスなどの国県道が横縦断し、庄内空港や高速道路インターチェンジに接する交通の要衝の地として、また、県総合支庁や消防学校、地方卸売市場や大規模商業施設など、行政や経済物流の機能が集積する町として、庄内圏域での役割を担っている。

豊かな田園風景と赤川・藤島川、大山川の三つの河川に象徴される三川町は、人と環境と産業が真に調和した元気あふれるまちづくりに努めている。

庄内町

庄内町は、旧余目町と旧立川町の合併により、平成の大合併としては県内で初めての自治体として、平成17年7月1日に誕生した。地理的には庄内地域のほぼ中央に位置する交通の要所であり、今後は最上地域とを結ぶ高速交通網の整備も期待されている。

霊峰月山の頂を有し、清流立谷沢川と最上川、そしてその恩恵を預かる肥沃な田園地帯を抱えた豊かな自然に恵まれた地域であり、風力発電事業をはじめとした自然エネルギーの利活用等、地域資源を活かし自然と調和した取組みを展開している。

現在は、「子育て応援日本一の町づくり宣言」によるきめ細やかな子育て支援策や、若者の定住促進施策を充実させるとともに、産業振興、高齢者福祉及び教育施策の充実を図り、「日本一住みやすく住みつづけたい町」の実現に向けたまちづくりを進めている。

【総人口の推移（単位：人、下段は増減率）】

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
鶴岡市	150,840	149,509 -0.9%	147,546 -1.3%	142,384 -3.5%	136,623 -4.0%
三川町	8,263	8,188 -0.9%	7,879 -3.8%	8,003 1.6%	7,731 -3.4%
庄内町	26,705	26,251 -1.7%	25,489 -2.9%	24,677 -3.2%	23,158 -6.2%
圏域の合計	185,808	183,948 -1.0%	180,914 -1.6%	175,064 -3.2%	167,512 -4.3%
山形県人口	1,258,390	1,256,958	1,244,147	1,216,181	1,168,924
圏域の割合	14.8%	14.6%	14.5%	14.4%	14.3%

資料：国勢調査 年齢不詳を含む

【年齢別人口割合の推移 上段は年少人口（15歳未満）、下段は高齢人口（65歳以上）】

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
鶴岡市	18.6% 17.1%	16.8% 20.5%	15.2% 23.7%	13.8% 26.4%	12.8% 28.7%
三川町	18.5% 18.0%	16.2% 22.3%	14.9% 25.9%	13.7% 29.6%	12.9% 30.7%
庄内町	18.0% 17.2%	16.2% 21.3%	14.8% 25.1%	13.8% 28.4%	12.8% 30.6%
圏域の合計	18.5% 17.1%	16.7% 20.7%	15.1% 24.0%	13.8% 26.9%	12.8% 29.1%

資料：国勢調査

【圏域内の通勤通学者の動向（単位：人、下段は通勤通学割合）】

	鶴岡市へ	三川町へ	庄内町へ	通勤通学者 の総数	圏域内の他 市町へ
鶴岡市	54,382 88.6%	1,687 2.7%	827 1.3%	61,411	4.1%
三川町	1,504 45.8%	996 30.3%	157 4.8%	3,287	50.5%
庄内町	2,430 24.3%	455 4.6%	3,804 38.1%	9,980	28.9%

資料：平成22年国勢調査より算出 通勤通学者の総数に自宅就業者を含まない

(2) 圏域の将来像

我が国は、少子高齢化と人口減少が進行し、産業・経済のグローバル化が進展するなか、国と地方の財政は非常に厳しい状況にあるなど、これまでに経験したことのない大きな転換期にある。このような状況のなか、中央から地方へ、官から民へ、物の豊かさから心の豊かさへとといった構造的な変革が急速に展開されており、地方自治体では新しい時代の多様化する行政ニーズに応え、効率的な行財政運営のもと、地域の実情に応じた自主的・自立的な地域づくりを進めることが求められている。

庄内南部地域の鶴岡市、三川町、庄内町は、昔から生活・経済・文化などを一にする圏域として密接な関係を有しており、これまでも各般の行政推進において多様な連携を図ってきた。しかし、圏域全体の人口減少が進み活力低下が懸念されるなか、今後は更に連携協力し、必要な生活基盤を確保しつつ魅力ある地域づくりを進めていく必要がある。

このため、本市は、三川町、庄内町とともに「庄内南部定住自立圏」を形成し、その中心市として都市機能の充実を図るとともに、1市2町それぞれの特性を生かした地域づくりを進め、人々が将来にわたって安心して暮らし続けることができる圏域づくりを進め、圏域全体として定住環境を整えていく。

市民と地域と行政の力、さらに3市町の協調・協力による「総合力」の発揮に努め、豊かな自然環境や優れた地域資源など各地域の特性を最大限活かし、安心して暮らせる生活環境の整備と地域活力の向上を図り、人、暮らし、自然がいきいきと輝く、持続可能な希望あふれる圏域を形成することをめざすものである。

(3) 市町の役割分担

鶴岡市

定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と圏域住民が安心して暮らせる魅力ある圏域の形成を図る。

連携する三川町・庄内町

生活機能の確保・充実に努めるとともに、それぞれが有する地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域の魅力づくりと一体感の醸成に向け、それぞれが役割を果たす。

3 定住自立圏共生ビジョンの期間

平成25年度から平成29年度までの5年間とする。

ただし、毎年度所要の見直しを行うものとする。

4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

ア 医師等の確保対策の充実

圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院は、地域に根ざした急性期病院、また救急医療・高度医療の中核として、鶴岡地区医師会、歯科医師会、薬剤師会などと連携し圏域全体の医療の充実に貢献しているが、医師不足の解消が課題であり、圏域で連携・協力して説明会や情報収集・発信等様々な確保対策を講じる。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けて、甲が実施・参加する取組に対し、乙も連携・協力して取組を推進し、圏域の医療体制の安定・充実を図る。
甲(鶴岡市)の役割	甲が実施・参加する鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組について、乙の情報も活用しながら実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携し、鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組に協力する。

具体的な連携事業

事業名	医師の確保対策事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	医学生に対する修学資金の貸与 や高校生を対象としたオープンホスピタル事業、研修医確保に向けた病院説明会(山形、仙台、東京など)への参加、 診療参加型臨床実習医学生の受入れ 、当地域出身者で県外に勤務する医師や当地域出身の医学生に対する勧誘、新潟大学・山形大学医学部への働き掛けなどを展開する。								
期待される効果	研修医や医師の確保に一定の効果が見込まれるとともに、オープンホスピタル事業を通じて医学部進学をめざす生徒の増加が期待できる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
	医学生への修学資金の貸与		→						
	オープンホスピタルの開催	→							
	病院説明会への参加	→							
	臨床実習医学生の受入れ		→						
	医師・医学生への働き掛け	→							
事業費見込	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計		
(千円)	鶴岡市	1,000	7,000	15,000	23,000	31,000	39,000	115,000	
	三川町								
	庄内町								
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市(荘内病院)が主体的に取組みを行う。 ・三川町と庄内町は、医師確保に向けた情報提供・情報発信を行う。 								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

イ 休日及び夜間における診療体制の充実

鶴岡市が設置する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所について、圏域内の住民が安心して利用できる初期救急医療施設として、適切な利用と利用者拡大のため、機能充実と普及啓発の取組みを行う。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の診療体制の充実を図るため、休日及び夜間における初期救急医療体制の確立を目的に甲が開設する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所(以下「休日夜間診療所等」という。)の機能の充実に努めるとともに、圏域内の住民の利用に関する普及啓発を図る。
甲(鶴岡市)の役割	休日夜間診療所等について、関係機関と連携・調整を行い円滑な運営を図るとともに、乙と協議しながら機能の充実に努める。 甲の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。

具体的な連携事業

事業名	休日及び夜間における診療体制の充実							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	関係市町及び医療関係団体並びに各種メディアを通じて、休日夜間診療所等の利用に関するパンフレットの配布やポスターの掲示等により、普及啓発活動を行う。							
期待される効果	圏域全体として、利用者の利便性向上と初期救急医療体制の確立が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	普及啓発活動の実施		—————▶					
事業費見込 (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	100	100	40	100	100	100	440
	三川町							
	庄内町							
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は各町及び医療関係団体並びに各種メディアとの連絡調整を担当する。 ・各市町は共同して住民に対する普及啓発活動を行う。 							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

ウ がん緩和ケアの充実

鶴岡市が設置する「緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川」を鶴岡市と三川町が継続して運営し、講座や講演会等の啓発活動や医療福祉関係者の研修等をとおり、2市町が連携してがん緩和ケアの普及啓発を推進する。

形成協定の内容

取組の内容	がん緩和ケアの充実を図るため、甲が設置する緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川について、甲及び乙の住民が活発に利用できるよう、連携して緩和ケアの普及啓発を推進するとともに、がん患者とその家族の生活の質を向上する取組を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川を継続して運営するとともに、関係する医療・福祉・行政機関で組織する南庄内緩和ケア推進協議会を、乙と協議しながら運営する。
乙(三川町)の役割	乙の住民に対して緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川の利用に関する普及啓発活動を行う。 南庄内緩和ケア推進協議会への参加と運営への協力を行う。

具体的な連携事業

事業名	南庄内がん緩和ケアの拡充								
関係市町名	鶴岡市、三川町								
事業内容	地域住民を対象に公開講座や出張講演会等の啓発活動を実施し、医療福祉関係者のスキルアップ研修会と連携促進の事業を展開する。								
期待される効果	圏域全体として、がん患者とその家族のQOLの向上と、関係する医療・福祉従事者のスキルアップが見込まれる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
	啓発事業(講座・出張講演会)	▶							
	スキルアップ研修会の開催	▶							
	医療と福祉の連携事業	▶							
事業費見込 (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計	
	鶴岡市	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000	
	三川町	500	500	500	500	500	500	2,500	
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行なう。 ・南庄内緩和ケア推進協議会の活動負担金拠出及び委員の選出をそれぞれ行う。 								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大

がんの早期発見・早期治療に有効な検診について、圏域の住民の生命を守り健康寿命の延伸を図るため、圏域で連携・協力して受診の啓発活動や職域への働きかけを進め、受診率の向上をめざす。

形成協定の内容

取組の内容	がんから圏域の住民の生命・健康を守るため、甲及び乙が連携して、早期発見・早期治療に有効ながん検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上のための取組等を行い、受診率の向上を目指す。
甲(鶴岡市)の役割	職域に対する啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	上記甲の取組について、甲と連携して実施する。

具体的な連携事業

事業名	がん検診受診向上対策啓発事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	市・各町が一体的にがん検診の周知啓発を図るためのチラシの作成やキャンペーン、講演会を開催する。また、職域と連携し受診状況の実態調査と受診勧奨を行う。								
期待される効果	圏域全体として受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
	啓発事業(講演会・キャンペーン等)	→							
	職域の実態調査・受診勧奨	→							
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計	
	鶴岡市	480	1,053	<u>613</u>	1,053	1,053	1,053	<u>4,825</u>	
	三川町		103	<u>73</u>	103	103	103	<u>485</u>	
	庄内町		206	<u>115</u>	206	206	206	<u>939</u>	
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・啓発等に係る経費は各市町それぞれが負担する。 ・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。 								

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 福祉

ア 病児・病後児保育施設の相互利用

圏域の各市町で実施している病児・病後児保育施設のサービスについて、圏域の子育て環境の充実を図るため各市町の住民が相互に利用できるようにする。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、圏域内に設置されている病児・病後児保育施設について、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、保護者の就労を支援する。
甲(鶴岡市)の役割	甲において設置する病児・病後児保育施設を乙の住民も利用できるようにするとともに、取組の調整を図る。 甲の住民に対して乙(三川町のみ)の病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙(三川町のみ)において設置する病児・病後児保育施設を甲の住民も利用できるようにする。 乙の住民に対して甲の病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	病児・病後児保育事業の相互利用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	病児・病後児保育施設『カトレアキッズルーム』及び『にこっと』が実施する病児・病後児保育について、市及び各町の住民が利用できるようにするとともに、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	運営体制の一部見直し・調整	→						
	利用範囲の拡大		→					
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	34,000
	三川町	9,100	9,100	8,600	9,100	9,100	9,100	45,000
	庄内町							
活用を想定する補助制度	山形県保育対策等促進事業費補助金(国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・各施設の運営経費に対する委託料及び補助金は施設の所在市町が負担する。 ・住民への周知は各市町がそれぞれ行う。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

イ 一時保育施設の相互利用

圏域の認可保育所が実施している一時預かりについて、圏域の子育て環境の充実を図るため各市町の住民が相互に利用できるようにする。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、圏域内の認可保育所が実施する一時預かりについて、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図る。
甲(鶴岡市)の役割	甲の認可保育所が実施する一時預かりを乙の住民も利用できるようにするとともに、取組の調整を図る。 甲の住民に対して乙の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の認可保育所が実施する一時預かりを甲の住民も利用できるようにする。 乙の住民に対して甲の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	一時保育施設の相互利用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	各市町の認可保育所が実施する一時預かりについて、市及び各町の住民が利用できるようにするとともに、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図るとともに、安心して子育てできる環境の充実が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	運営体制の一部見直し・調整	→						
	利用範囲の拡大		→					
事業費見込	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計	
(千円)								
鶴岡市	11,000	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500	57,500	
三川町	760	760	530	760	760	760	3,570	
庄内町	6,140	6,140	6,140	6,140	6,140	6,140	30,700	
活用を想定する補助制度	山形県保育対策等促進事業費補助金(国 1/2、市町 1/2) 山形県保育対策等促進事業費補助金(国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・各施設の運営経費に対する費用は施設の設置市町が負担する。 ・住民への周知は各市町がそれぞれ行う。 							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

ウ 鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用

圏域の各市町で実施している子育て支援センターの事業について、圏域の子育て環境の充実を図るため、各市町の住民が相互に利用できるようにする。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、甲が設置する鶴岡市子ども家庭支援センターについて、甲及び乙の住民を対象に、子育て支援や育児発達相談等を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市子ども家庭支援センターで実施する育児相談、育児講座等の事業について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対して、鶴岡市子ども家庭支援センターの適切な利用に関する普及啓発を行う。

具体的な連携事業

事業名	鶴岡市子ども家庭支援センターの機能拡充事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	鶴岡市の子育て支援センターで実施する育児相談、育児講座等の事業について、市以外の各町の住民も利用できるようにするとともに、各町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	運営組織の一部見直し	→						
	事業範囲の拡大		→					
事業費見込み	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計	
(千円)	鶴岡市	400	400	400	400	400	400	2,000
	三川町							
	庄内町							
活用を想定する補助制度	山形県保育対策等促進事業費補助金(国 1/2、市町 1/2)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・講座等に係る開催経費及び活動広報経費は各市町それぞれが負担する。 ・住民への情報提供は各町がそれぞれ行う。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

エ 介護認定審査事務の連携

鶴岡市が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、三川町の住民も対象として継続して実施し、介護保険事業の効率的な運営を図る。

形成協定の内容

取組の内容	介護保険事業の効率的運営を図るため、甲が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象として実施する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、乙の住民の要介護認定審査事務を受託する。
乙(三川町)の役割	甲に乙の住民の要介護認定審査事務を委託する。

具体的な連携事業

事業名	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象とするよう、乙は甲に事務を委託する。							
期待される効果	効率的な要介護認定審査事務が行われる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	事業実施	—————▶						
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	17,400	17,200	17,200	17,200	17,200	17,200	86,000
	三川町	5,200	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町の委託を受け、事務を行う。							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

③ 教育

ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用

鶴岡市が設置・運営する鶴岡市中央公民館女性センターについて、圏域内の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、2町に対して同センターの事業展開の拡大と住民の利用促進を図る。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、甲が設置する鶴岡市中央公民館女性センターについて、甲及び乙の住民を対象に、事業を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する各種講座等について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対して、鶴岡市中央公民館女性センターの適切な利用に関する普及啓発を行う。

具体的な連携事業

事業名	鶴岡市中央公民館女性センターの機能拡充事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する、就業を支援する講座や女性の企画力向上をめざす講座、その他各種講座等について、鶴岡市以外の各町住民が利用できるようにするとともに、各町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体において、女性の職業生活、家庭生活支援と女性の学習活動意欲を向上させることが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	事業範囲の拡大		—————▶					
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500
	三川町							
	庄内町							
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

④ 産業振興

ア 圏域の産業人材の育成

(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業に対し、圏域における産業の技術力向上と事業の高度化に資する人材を育成するため、各市町が連携して支援を行うとともに地元企業に対する情報提供等を行う。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の産業人材の育成のため、(公財)庄内地域産業振興センター(以下「センター」という。)が実施する地域産業の競争力向上と事業の高度化に資する人材育成事業に対し、甲及び乙が連携して支援を行う。
甲(鶴岡市)の役割	地元企業や高等教育機関等の関係機関に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 センターの人材育成事業を乙と連携して支援するとともに、その調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	地元企業等に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 甲と連携してセンターの人材育成事業を支援する。

具体的な連携事業

事業名	産業人材育成支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	(公財)庄内地域産業振興センターが主体として実施する、地域産業の技術力向上と事業の高度化に資するための人材育成事業の共同支援(運営費・受講費の一部補助)を行なう。							
期待される効果	事業へ共同支援することにより、安定した事業が遂行できる。 より多くの企業が参加することにより、企業間の交流及び圏域内の企業の活性化が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	事業実施							
	各事業所への周知・検討							
	事業負担							
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	9,913	10,724	<u>9,655</u>	<u>9,655</u>	<u>9,655</u>	<u>9,655</u>	<u>49,344</u>
	三川町							
	庄内町							
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・庄内産業振興センターの事業に係る経費(運営費・受講費の一部補助)等については、関係市町が応分の負担を行なう。 ・各市町の負担については、企業の参加状況を踏まえ按分を検討する。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

イ 雇用・就業支援対策の推進

鶴岡市が設置する鶴岡ワークサポートルームについて、鶴岡市と三川町が連携して支援し、同市町の住民が求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務等のサービスを適切に受けられるようにし、求職者の選択肢の確保、安定した生活への支援を行う。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の雇用・就業支援の充実のため、甲が設置する鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業について、甲及び乙の地域で実施する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡ワークサポートルームにおいて、甲と乙の住民に対して雇用・就業支援事業を実施する。
乙(三川町)の役割	乙の地域住民や事業所に対し、甲が実施する雇用・就業支援事業の適切な利用に関する普及啓発を行う。

具体的な連携事業

事業名	内職相談事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	甲が設置する鶴岡ワークサポートルームにおいて、在宅での仕事を希望する方のための内職相談員を設置し、求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務を行なう。							
期待される効果	より多くの内職求人・求職募集が見込めるとともに、求職者の選択肢が広がり、安定した生活への助成が期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	内職相談・求人開拓・あつ旋	—————▶						
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	2,395	2,586	<u>2,582</u>	<u>2,582</u>	<u>2,582</u>	<u>2,582</u>	<u>12,914</u>
	三川町	135	144	<u>148</u>	<u>148</u>	<u>148</u>	<u>148</u>	<u>736</u>
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	相談業務に係る経費(人件費・事務費)等については、各市町が応分の負担(人口割合等)を行なう。							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

ウ 水田農業の研究・研修活動等の促進

庄内水田農業推進機構が行う農業者を対象とした生産技術や加工・販売等や消費者・企業等を含めた研修会、さらに鶴岡市が実施する水田農業体験などについて、圏域の水田農業の振興を図るため、市と2町が連携し、事業範囲を拡大して実施する。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の基幹産業である農業、特に水田農業を振興するため、JA、試験研究機関、山形大学農学部及び行政で構成する庄内水田農業推進機構が行う事業を圏域全体で推進し、支援する。
甲(鶴岡市)の役割	庄内水田農業推進機構の取組について、事務局として関係機関・団体等との調整及び事業企画に対する支援、管内農家等への周知等を行う。 水田農業の推進に関する事業を拡大して実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体等との調整及び事業企画に対する支援、管内農家等への周知等を行う。

具体的な連携事業

事業名	庄内水田農業推進機構支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	機構が行う水田農業の振興・発展を図るための関係機関・団体及び地域農業のリーダーや意欲の高い農業者を対象とした生産技術や加工・販売等に関するフォーラム・ワークショップの開催と、広く住民・消費者や企業等との連携・交流を図るための研修会の開催に対して、協力して支援を行う。合わせて、山大農学部と連携した小学生を対象とした水田農業体験(わんぱく農業クラブ)を圏域を拡大して毎月1回実施する。							
期待される効果	庄内南部の関係者が連携し事業を拡充することで、水田農業の情報発信と担い手農家の生産技術・経営力の向上が図られる。 小学生・保護者の水田農業への理解関心を高めることができる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	組織化に向けた検討	→						
	ワークショップ・研修会の開催	→						
	わんぱく農業クラブの拡大実施	→						
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	447	368	370	370	370	370	1,848
	三川町		22	22	22	22	22	110
	庄内町		66	66	66	66	66	330
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は、事務局として町及び関係組織・団体との連絡調整を行う。 ・各市町は、関係組織・団体と連携し、フォーラム・ワークショップを企画・開催する。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

エ 育苗施設等農業施設の相互利用

圏域の産地化の拡大・強化を図るため、庄内町が設置し、指定管理者の庄内町種苗センター運営協議会が管理運営する花卉育苗施設などを圏域の住民が利用できるようにし、高品質かつ低価格で安定的な花卉苗の供給を促進する。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の産地化の拡大・強化を図るため、花卉育苗施設などの農業施設について、甲乙の協議の上、圏域全体で利用できるよう調整し利用拡大を図る。
甲(鶴岡市)の役割	農業施設の相互利用について乙と協議し、甲の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	農業施設の相互利用について甲と協議し、乙の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。

具体的な連携事業

事業名	庄内南部地域花卉育苗施設利用拡大事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	庄内町が設置し、指定管理者の庄内町種苗センター運営協議会が管理運営する花卉育苗施設を広域で利用拡大することにより、高品質かつ低価格で安定的な花卉苗の供給を促進する。							
期待される効果	庄内南部地域の花生産の拡大と関係農家の経営の安定化が促進される。新規生産者(特に、若者農業者)の花生産への円滑な参画が促進される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	広域利用の調整	→						
	利用拡大策の実施	→						
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市			1,000	1,500	1,500	1,500	5,500
	三川町							
	庄内町							
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・25年度を目途に、利用拡大のための支援について負担を検討し調整する。							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

オ 内水面漁業の振興対策の充実

内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組みに対し、内水面漁業の振興を図るため、圏域の各市町が継続して支援する。

形成協定の内容

取組の内容	内水面漁業の一層の振興を図るため、甲の区域に所在する内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組について、圏域で連携して支援し活動を推進する。
甲(鶴岡市)の役割	内水面漁業協同組合に対し、乙と連携して支援を行うとともに、支援の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、内水面漁業協同組合に対し支援を行う。

具体的な連携事業

事業名	内水面漁業振興事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	河川環境を検討し、種苗の放流による魚族の増殖と、河川監視等による漁場環境の保全を行うため、内水面漁業協同組合へ補助金を交付し、振興支援に努める。							
期待される効果	魚族の増殖と漁場環境の整備により、圏域内外から多くの釣り客が訪れることで、河川流域の活性化が図られる。 子供の体験学習として種苗放流を実施することで、川や生き物についての関心が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	事業実施	→						
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	380	380	380	380	380	380	1,900
	三川町	48	48	48	48	48	48	240
	庄内町	47	47	47	47	47	47	235
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・内水面漁業協同組合への補助は各市町がそれぞれ負担する。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

カ 観光推進団体等支援の充実

圏域の一層の観光振興のため、全国有数の花火大会である赤川花火大会と、全国有数の観光地であり山岳信仰の地である出羽三山地区の受入環境の整備について、鶴岡市と関係町が連携・協力し、推進団体への支援を継続強化する。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の観光による誘客を強化するため、観光推進団体等が行う事業に対し、甲乙の協議の上、連携して支援する。
甲（鶴岡市）の役割	観光推進団体の企画運営に必要な応じて協力するとともに、その取組の調整を図る。
乙（三川町、庄内町）の役割	甲と連携して、観光推進団体の企画運営に協力する。

具体的な連携事業

事業名その1	赤川花火大会への支援							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	赤川花火大会への補助金支出							
期待される効果	赤川花火大会を支援することにより、誘客の増加が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	補助金の維持、拡充		—————▶					
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	10,000	10,000	<u>12,000</u>	12,000	10,000	10,000	<u>54,000</u>
	三川町	300	300	300	400	300	300	1,600
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。							
事業名その2	出羽三山地区観光開発促進期成同盟会負担金							
関係市町名	鶴岡市、庄内町							
事業内容	現地調査等観光開発事業、月山八合目・九合目・山頂の公衆トイレ管理事業、県道月山公園線交通混雑対策事業、月山八合目給水事業及び要望活動							
期待される効果	全国有数の観光地であり山岳信仰で有名な出羽三山地区の受入環境を整備することにより、誘客の増加が図られる。							

実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	負担金の拡充		—————▶					
事業費見込み		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
(千円)	鶴岡市	2,547	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	13,000
	庄内町	39	200	200	200	200	200	1,000
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

キ 圏域観光の魅力発信の連携強化



圏域の一層の観光振興のため、新たな観光資源の掘り起こしや、古くから育んできた伝統芸能の発信、観光推進団体等への支援などを各市町で連携・協力して行い、圏域の魅力発信の強化を図る。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の一層の観光振興を図るため、新たな観光資源を掘り起こし広くPRするほか、古くから育んできた伝統芸能の発信を圏域全体で連携して行い、圏域の魅力発信を強化する。
甲(鶴岡市)の役割	観光資源の掘り起こしと魅力発信のため、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。

具体的な連携事業

事業名その1	魅力発信事業						
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町						
事業内容	協議会の設置、パワースポットなど新たな観光資源の掘り起こし、観光ルートの体系化、PR用チラシの作成、シンポジウムの開催、フィールドワークの実施、出羽商工会の観光事業への支援、特産品開発プロジェクトへの支援を行う。						
期待される効果	郷土愛の醸成、誘客の拡大、地域の活性化、物産の販路拡大などが図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29
	事業内容の調整		—————▶				
	事業実施				—————▶		

事業費見込み	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
(千円)							
鶴岡市		100	<u>100</u>	1,000	1,000	1,000	<u>3,200</u>
三川町				300	300	300	900
庄内町		100	<u>100</u>	300	300	300	<u>1,100</u>
活用を想定する補助制度							
役割分担の考え方	・鶴岡市は各町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。						
事業名その2	伝統芸能祭開催事業						
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町						
事業内容	各市町で古くから育んできた獅子舞、天狗舞、神楽などの伝統芸能を一同に会し、披露する。(開催地は持ち回りとする。)						
期待される効果	誘客の促進と後継者の育成が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29
	実施に向けた調整						
	事業実施						
事業費見込み	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
(千円)							
鶴岡市			<u>0</u>	3,000	3,000	3,000	<u>9,000</u>
三川町			<u>0</u>	500	500	500	<u>1,500</u>
庄内町			<u>0</u>	500	500	500	<u>1,500</u>
活用を想定する補助制度	—						
役割分担の考え方	・鶴岡市は各町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。						

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

ク 食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成

圏域の豊かな食文化資源と、大型ロケ施設やコミュニティ型映画館、映像制作人材などの映画資源を基盤に、地域文化情報の発信や創造的人材の育成、創造的文化産業の創出に取組み、食関連産業や観光の振興、商店街の活性化などにつなげる。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の交流人口の拡大、定住促進を図るため、庄内南部地域の豊かな食文化を活かした食文化創造の活動と映画・映像など地域の新たな資源の相乗効果により、特色ある地域文化の発信、創造的人材の育成等を進める。
甲(鶴岡市)の役割	食文化や映画の関係機関・団体との調整及び事業の企画運営を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び事業への協力を行う。

具体的な連携事業

事業名	食文化と映画を活かした創造的産業づくり事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	広域的な推進組織を設置し、ワークショップを通じた創造的映画人材の育成、食文化をテーマにした地域映画の製作、映画・映像を活用した「スクリーンツーリズム」、地域ならではのフィルムコミッションの整備、映画人との交流・移住定着、映像を活用した創造的産業や既存産業の振興などに関する調査研究を実施し、これらが観光・商業等の産業活性化につながる持続的な仕組みづくりを行うとともに、可能性の高い事業から段階的に展開を図る。							
期待される効果	食文化と映画を通じた交流人口の増加、関連人材の移住定着、創造的産業の創出と既存産業の活性化などが期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	事業実施	—————▶						
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	8,000	<u>10,000</u>					<u>10,000</u>
	三川町							
	庄内町							
活用を想定する補助制度	国等関連補助金							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・26年度以降の具体的展開及び事業費見込みについては今後調整する。 ・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑤ その他

ア 下水道事業の連携

地震等の自然災害が頻発するなか、圏域の各市町における汚水処理の連携及び下水道施設の横断的活用により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るとともに、災害時の汚水処理の確保に努める。

形成協定の内容

取組の内容	最上川下流流域下水道事業を基幹とした汚水処理の連携により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めるとともに、圏域の下水道施設の横断的活用により、災害時の汚水処理を確保する。
甲（鶴岡市）の役割	圏域における下水道事業連携プランを乙の協力のもと策定し、乙と連携して効率的、効果的な下水道事業に取り組む。 県管理の流域下水道事業による広域処理の円滑な管理運営を維持確保するための連携を強化する。
乙（三川町、庄内町）の役割	甲の下水道事業連携プランに基づき、下水道事業の横断的整備促進を図るとともに、最上川下流流域下水道事業の適切な維持管理の確保のため圏域の連携の強化に努める。

具体的な連携事業

事業名	下水道事業連携プランの策定と汚水処理の連携							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	流域下水道及び公共下水道等の管路・処理施設の整備並びに相互活用に係る事業連携プランを策定し、その事業推進について研究・検討・整備・管理運営を関係市町の連携により推進する。							
期待される効果	圏域全体の公共用水域の水質保全と生活環境の向上が期待される。 災害時の汚水処理の迅速な対応が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	事業連携プラン策定	→						
	プラン実施				→			
事業費見込み (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計	
	鶴岡市		26	44				70
	三川町							
	庄内町							
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は各町の協力により事業連携プランを策定し、事業の推進を図る。 ・最上川下流流域下水道事業促進協議会の運営は庄内町が事務局として連絡・調整を担当し、経費は県を含め各市町が負担する。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通

ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進

圏域の公共交通ネットワークの維持強化のため、圏域内の行政関与バス運行体制の確保に努めるとともに、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し住民の一層の利用促進を図る。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の公共交通ネットワークの強化のため、地域公共交通の実態調査及び検証を行い、交通事業者等関係機関と連携して、公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進に取り組み、圏域内の交流の活性化を図る。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市地域公共交通総合連携計画との整合を図りながら、乙及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に中心的に取り組む。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に取り組む。

具体的な連携事業

事業名	圏域内バス路線の利便性向上と分かりやすく利用できるシステムの構築							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	既存バス路線の利便性の向上と路線の確保維持のため、事業者や国、県へ働きかけるとともに、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し利用促進を図る。							
期待される効果	圏域内公共交通ネットワークの利便性向上と、移動手段の確保維持が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	圏域内バス路線運行事業 (鶴岡・清川線、鶴岡・酒田線)	—————▶						
	バス路線利用促進事業 (時刻・ルート・運賃・お得情報等のPR)			—————▶				
事業費見込み (千円)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計	
鶴岡市	6,718	<u>7,041</u>	7,371	7,371	7,371	7,371	<u>36,525</u>	
三川町		<u>698</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>698</u>	
庄内町	3,198	3,465	<u>3,971</u>	<u>3,971</u>	<u>3,971</u>	<u>3,971</u>	<u>19,349</u>	
活用を想定する補助制度	地域公共交通確保維持事業 県総合交付金							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市が企画・調整を担当し、各町の協力のもと実施する。 ・事業経費は各市町それぞれが負担する。 ・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 道路等の交通インフラの整備

ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

老朽化の進んでいる道路・橋梁について、圏域の地域間ネットワークの維持向上を図るため、市町間を結ぶ市町道に架かる橋梁の現状を把握し、修繕計画に基づき適切に補修・補強を行い、長寿命化を進める。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の地域間ネットワークの維持向上を図るため、市町間を結ぶ市町道に架かる橋梁の現状を把握し、長寿命化に向けた修繕計画の策定及び補修・補強を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙との境界部が河川となっている箇所に架かる市道橋梁について、乙との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲との境界部が河川となっている箇所に架かる町道橋梁について、甲との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域間連絡道路に架かる橋梁の長寿命化修繕計画の策定及び補修・補強							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	地域間を結ぶ市町道に架かる橋梁の現状を把握し、長寿命化に向けた修繕計画の策定及び補修・補強を行うことにより、地域間ネットワークの向上を図る。							
期待される効果	地域を結ぶ主要な道路に架かる橋梁についての長寿命化修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行うことにより、地域間の安全な交通機能が確保される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	橋梁調査	→						
	橋梁長寿命化修繕計画策定	→						
	補修・補強工事の実施		→					
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	55,989	<u>85,400</u>	<u>200,000</u>	<u>200,000</u>	<u>200,000</u>	<u>200,000</u>	<u>885,400</u>
	三川町		<u>0</u>	10,000	10,000	10,000	10,000	<u>40,000</u>
	庄内町	5,000		<u>3,000</u>	<u>33,000</u>	<u>33,000</u>	<u>33,000</u>	<u>102,000</u>
活用を想定する補助制度	社会資本整備総合交付金(1/2) 起債(9/10)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・橋梁調査、計画策定、補修工事等については、関係市町それぞれが負担する。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消費 ア 地域産材利活用の推進

圏域の林業再生及び関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し圏域全体で支援するとともに、各市町それぞれが地域産材を使った家づくりの普及促進に努める。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の林業及び地域住宅関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し、甲及び乙が連携して支援し、地域産木材の利活用の推進に努める。
甲(鶴岡市)の役割	ネットワーク組織への支援を継続して行うとともに、圏域全体での支援について乙と協議し連携して行い、その充実に努める。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、乙の住民に対し、ネットワーク組織の活動に関する普及啓発活動を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域産材及び住宅関連産業振興事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	森林所有者、製材業者、設計業者、住宅関連業者で組織するネットワーク組織(「つるおか住宅活性化ネットワーク」、「庄内の森林から始まる家づくりネットワーク」)が、地域産木材を使った家づくりを推進するに際し、圏域全体で支援する。							
期待される効果	森林所有者へ利益を還元し森林整備を促進する。 地域産材を使った家づくりを推進することにより圏域の住宅関連産業の振興を図る。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	展開拡大に向けた調整	→						
	事業実施		→					
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	5,000	4,800	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>12,000</u>
	三川町							
	庄内町							
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市は事務局事務を行うとともに、各町との連絡、調整を行う。 ・住民への情報提供、地域産材を使った家づくりの啓発等は各市町がそれぞれ行う。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

④ 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 婚活対策の拡大

圏域の若者の成婚を促進し地域の活力向上を図るため、鶴岡市の行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、各市町が連携・協力してより広範囲で効果的な婚活対策を展開する。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の若者の成婚を促進するため、甲が行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、より広範囲での効果的な婚活対策を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	甲の行う婚活支援事業を乙の住民や団体等も利用できるよう、乙と協議しその内容を拡大するとともに、取組の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、甲の行う婚活支援事業について乙の住民及び団体等に周知を図るとともに婚活支援事業を実施する。

具体的な連携事業

事業名	婚活支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し、情報を共有するとともに、婚活支援事業補助金の対象を各町の企業及び団体等に拡大する。また各町はその周知に努め補助を行うとともに、自ら婚活事業を実施する。							
期待される効果	圏域全体での婚活事業の展開が可能となり、出会いの機会の増加、及び成婚率の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	制度の見直し検討	→						
	事業実施(範囲拡大)		→					
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市	2,000	2,512	2,245	2,500	2,500	2,500	12,257
	三川町		200	200	200	200	200	1,000
	庄内町		265	501	501	501	501	2,269
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市が事務局を担当し、各町と連絡、調整する。 ・各町の企業及び団体等への補助は各町がそれぞれ行う。 							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

② 圏域内市町の職員等の交流

ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成

鶴岡市が実施している各種職員研修を基本に、研修の企画立案・運営を1市2町で行い、研修の質的充実と圏域の職員間の交流を図るとともに、外部より専門家を招聘し、課題解決能力、政策立案能力等の一層の向上を図る。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の市町職員の課題解決能力、政策立案能力等を向上させ、圏域内のマネジメント能力を強化するため、圏域内外の専門家等を講師として招聘するなどし、地域の活性化等、圏域内における共通の課題をテーマとした合同研修を実施するとともに、必要に応じ市町間での人的な交流を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行い、その調整を図る。 甲の職員等への周知、参加取りまとめを行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行う。 乙の職員等への周知、参加取りまとめを行う。

外部人材の活用方針

活用する主な政策分野	市民生活、健康福祉、教育文化、農林水産、商工観光、社会基盤
活用期間	平成 <u>27</u> 年度から平成 <u>29</u> 年度までを予定
関係市町の費用の負担割合及び積算	平成 <u>27</u> 年度以降の専門家の招聘に関する費用については、関係市町の負担割合は、活用内容を踏まえて市町で協議し決定することとし、費用の積算については、その年度の課題などを考慮して専門家と鶴岡市が事前に協議して決定する。

具体的な連携事業

事業名	合同研修事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で企画・開催し、職員の資質向上を図ると共に圏域内職員等の交流を推進する。							
期待される効果	職員の資質向上、圏域内職員等の交流・連携の推進等により、圏域マネジメント能力の強化が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	運営組織・事業内容等の検討	→						
	合同研修の企画・開催		→					
事業費見込み (千円)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
	鶴岡市		600	600	600	600	600	3,000
	三川町		100	100	100	100	100	500
	庄内町		100	100	100	100	100	500

活用を想定する補助制度	—
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市、庄内町、三川町が合同で研修の企画・運営を行う。 ・鶴岡市は事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

5 共生ビジョン事業一覧表

1 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

ア 医師等の確保対策の充実

H25	H26	H27	H28	H29	計
11,962	19,341	27,962	35,962	43,962	139,189

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-①-ア	医師の確保 対策事業	荘内病院の医師等の確保に 向けた取組みを協力して実施 する。	7,000	15,000	23,000	31,000	39,000	115,000		
三川町	1-①-ア	同上	同上								
庄内町	1-①-ア	同上	同上								
計				7,000	15,000	23,000	31,000	39,000	115,000		

イ 休日及び夜間における診療体制の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-①-イ	休日及び夜 間における診 療体制の充 実	圏域の初期救急医療施設とし て、機能充実と普及啓発を連 携して行う。	100	40	100	100	100	440		
三川町	1-①-イ	同上	同上								
庄内町	1-①-イ	同上	同上								
計				100	40	100	100	100	440		

ウ がん緩和ケアの充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-①-ウ	南庄内がん 緩和ケアの充 実	「緩和ケアサポートセンター鶴 岡・三川」への支援を通しがん 緩和ケアの普及啓発を推進す る。	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000		
三川町	1-①-ウ	同上	同上	500	500	500	500	500	2,500		
計				3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	17,500		

エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-①-エ	がん検診受 診向上対策 啓発	圏域で連携して受診の啓発活 動や職域への働きかけを行 う。	1,053	<u>613</u>	1,053	1,053	1,053	<u>4,825</u>		
三川町	1-①-エ	同上	同上	103	<u>73</u>	103	103	103	<u>485</u>		
庄内町	1-①-エ	同上	同上	206	<u>115</u>	206	206	206	<u>939</u>		
計				1,362	<u>801</u>	1,362	1,362	1,362	<u>6,249</u>		

(2)福祉

ア 病児・病後児保育施設の相互利用

H25	H26	H27	H28	H29	計
56,900	<u>56,170</u>	56,900	56,900	56,900	<u>283,770</u>

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-②-ア	病児・病後児 保育事業の 相互利用	各市町の病児・病後児保育施設のサービスが相互に利用できるようにする。	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	34,000	山形県保育対策等促進事業費補助金	
三川町	1-②-ア	同上	同上	9,100	<u>8,600</u>	9,100	9,100	9,100	<u>45,000</u>	同上	
庄内町	1-②-ア	同上	同上								
計				15,900	<u>15,400</u>	15,900	15,900	15,900	<u>79,000</u>		

イ 一時保育施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-②-イ	一時保育施設 の相互利用	各市町の一時保育施設のサービスが相互に利用できるようにする。	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500	57,500	山形県保育対策等促進事業費補助金	
三川町	1-②-イ	同上	同上	760	<u>530</u>	760	760	760	<u>3,570</u>	同上	
庄内町	1-②-イ	同上	同上	6,140	6,140	6,140	6,140	6,140	30,700	同上	
計				18,400	<u>18,170</u>	18,400	18,400	18,400	<u>91,770</u>		

ウ 鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-②-ウ	鶴岡市子ども家庭支援センターの機能拡充	市子育て支援センターで実施する育児相談、育児講座等を圏域全体で利用できるようにする。	400	400	400	400	400	2,000	山形県保育対策等促進事業費補助金	
三川町	1-②-ウ	同上	同上								
庄内町	1-②-ウ	同上	同上								
計				400	400	400	400	400	2,000		

エ 介護認定審査事務の連携

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-②-エ	要介護認定審査事務	鶴岡市介護認定審査会において、三川町の要介護認定審査事務を受託する。	17,200	17,200	17,200	17,200	17,200	86,000		
三川町	1-②-エ	同上	同上	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000		
計				22,200	22,200	22,200	22,200	22,200	111,000		

(3)教育

ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用

H25	H26	H27	H28	H29	計
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-③-ア	鶴岡市中央 公民館女性 センターの機 能拡充	女性センターで実施する資格 取得準備講座や女性講座、相 談等を圏域全体で利用できる ようにする。	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500		
三川町	1-③-ア	同上	同上								
庄内町	1-③-ア	同上	同上								
計				1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500		

(4)産業振興

H25	H26	H27	H28	H29	計
<u>37,685</u>	<u>29,618</u>	<u>35,618</u>	<u>33,518</u>	<u>33,518</u>	<u>169,957</u>

ア 圏域の産業人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-④-ア	産業人材育成支援	(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業を連携して支援する。	10,724	<u>9,655</u>	<u>9,655</u>	<u>9,655</u>	<u>9,655</u>	<u>49,344</u>		
三川町	1-④-ア	同上	同上								調整中
庄内町	1-④-ア	同上	同上								同上
計				10,724	<u>9,655</u>	<u>9,655</u>	<u>9,655</u>	<u>9,655</u>	<u>49,344</u>		

イ 雇用・就業支援対策の推進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-④-イ	雇用・就業支援(内職相談)	鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業を連携して支援する。	2,586	<u>2,582</u>	<u>2,582</u>	<u>2,582</u>	<u>2,582</u>	<u>12,914</u>		
三川町	1-④-イ	同上	同上	144	<u>148</u>	<u>148</u>	<u>148</u>	<u>148</u>	<u>736</u>		
計				2,730	2,730	2,730	2,730	2,730	13,650		

ウ 水田農業の研究・研修活動等の促進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-④-ウ	庄内水田農業推進機構支援	庄内水田農業推進機構が行う事業を圏域全体で支援する。	368	370	370	370	370	1,848		
三川町	1-④-ウ	同上	同上	22	22	22	22	22	110		
庄内町	1-④-ウ	同上	同上	66	66	66	66	66	330		
計				456	458	458	458	458	2,288		

エ 育苗施設等農業施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-④-エ	庄内南部地域花卉育苗施設等利用拡大	花卉育苗施設などの農業施設を圏域全体で利用できるようにする。		1,000	1,500	1,500	1,500	5,500		
三川町	1-④-エ	同上	同上								
庄内町	1-④-エ	同上	同上								
計					1,000	1,500	1,500	1,500	5,500		

オ 内水面漁業の振興対策の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-④-オ	内水面漁業 振興	内水面漁業協同組合が行う取 組みに対し圏域全体で支援す る。	380	380	380	380	380	1,900		
三川町	1-④-オ	同上	同上	48	48	48	48	48	240		
庄内町	1-④-オ	同上	同上	47	47	47	47	47	235		
計				475	475	475	475	475	2,375		

カ 観光推進団体等支援の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-④-カ	赤川花火大 会への支援	赤川花火大会実行委員会に 対し圏域の市町が連携して支 援する。	10,000	12,000	12,000	10,000	10,000	54,000		
三川町	1-④-カ	同上	同上	300	300	400	300	300	1,600		
計				10,300	12,300	12,400	10,300	10,300	55,600		
鶴岡市	1-④-カ	出羽三山地 区観光開発 への支援	出羽三山地区観光開発促進 期成同盟会に対し圏域の市町 が連携して支援する。	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	13,000		
庄内町	1-④-カ	同上	同上	200	200	200	200	200	1,000		
計				2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	14,000		
合計				13,100	15,100	15,200	13,100	13,100	69,600		

キ 圏域観光の魅力発信の連携強化

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-④-キ	観光資源の 掘り起こしと 魅力発信	出羽商工会の観光事業への 支援、特産品開発プロジェクト への支援等を連携して行う。	100	<u>100</u>	1,000	1,000	1,000	<u>3,200</u>		
三川町	1-④-キ	同上	同上			300	300	300	900		
庄内町	1-④-キ	同上	同上	100	<u>100</u>	300	300	300	<u>1,100</u>		
計				200	<u>200</u>	1,600	1,600	1,600	<u>5,200</u>		
鶴岡市	1-④-キ	伝統芸能祭 の開催	各市町の伝統芸能が一同に 会する伝統芸能祭を開催す る。		<u>0</u>	3,000	3,000	3,000	<u>9,000</u>		
三川町	1-④-キ	同上	同上		<u>0</u>	500	500	500	<u>1,500</u>		
庄内町	1-④-キ	同上	同上		<u>0</u>	500	500	500	<u>1,500</u>		
計					<u>0</u>	4,000	4,000	4,000	<u>12,000</u>		
合計				200	<u>200</u>	5,600	5,600	5,600	<u>17,200</u>		

ク 食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	1-④-ク	食文化と映画 を活かした創造 的産業づくり	食文化と映画を通じた人材交 流・定住、創造的産業の創出 等の取組みを連携して行う。	<u>10,000</u>					<u>10,000</u>	国等関連補助 金	
三川町	1-④-ク	同上	同上								
庄内町	1-④-ク	同上	同上								
計				<u>10,000</u>					<u>10,000</u>		

(5)その他

ア 下水道事業の連携

H25	H26	H27	H28	H29	計
26	44				70

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)					活用を想定する 補助制度等	備考	
				H25	H26	H27	H28	H29			計
鶴岡市	1-⑤-ア	下水道事業 連携プランの 策定と汚水処 理の連携	事業連携プランを策定し実施 するとともに災害時等の汚水 処理を連携して行う。	26	44				70		
三川町	1-⑤-ア	同上	同上								
庄内町	1-⑤-ア	同上	同上								
計				26	44				70		

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進

H25	H26	H27	H28	H29	計
<u>11,204</u>	<u>11,342</u>	<u>11,342</u>	<u>11,342</u>	<u>11,342</u>	<u>56,572</u>

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	2-①-ア	圏域内バス路線の確保維持と利用促進	既存バス路線の確保維持への支援と情報提供の向上による利用促進を連携して行う。	<u>7,041</u>	7,371	7,371	7,371	7,371	<u>36,525</u>	地域公共交通確保維持事業 山形県総合交付金	
三川町	2-①-ア	同上	同上	<u>698</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>698</u>	同上	
庄内町	2-①-ア	同上	同上	3,465	<u>3,971</u>	<u>3,971</u>	<u>3,971</u>	<u>3,971</u>	<u>19,349</u>	同上	
計				<u>11,204</u>	<u>11,342</u>	<u>11,342</u>	<u>11,342</u>	<u>11,342</u>	<u>56,572</u>		

(2) 道路等の交通インフラの整備

ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

H25	H26	H27	H28	H29	計
<u>85,400</u>	<u>213,000</u>	<u>243,000</u>	<u>243,000</u>	<u>243,000</u>	<u>1,027,400</u>

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	2-②-ア	橋梁の長寿命化修繕計画の策定及び補修・補強	市町道に架かる橋梁の現状把握、修繕計画に基づく補修・補強を連携して行い、長寿命化を進める。	<u>85,400</u>	<u>200,000</u>	<u>200,000</u>	<u>200,000</u>	<u>200,000</u>	<u>885,400</u>	社会資本整備総合交付金 地方債	
三川町	2-②-ア	同上	同上	<u>0</u>	10,000	10,000	10,000	10,000	<u>40,000</u>	同上	
庄内町	2-②-ア	同上	同上		<u>3,000</u>	<u>33,000</u>	<u>33,000</u>	<u>33,000</u>	<u>102,000</u>	同上	
計				<u>85,400</u>	<u>213,000</u>	<u>243,000</u>	<u>243,000</u>	<u>243,000</u>	<u>1,027,400</u>		

(3)地域の生産者・消費者等の連携による地産地消

ア 地域産材利活用の推進

H25	H26	H27	H28	H29	計
4,800	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>12,000</u>

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	2-③-ア	地域産材及び住宅関連産業振興	地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し連携して支援を行う。	4,800	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>12,000</u>		
三川町	2-③-ア	同上	同上								
庄内町	2-③-ア	同上	同上								
計				4,800	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>1,800</u>	<u>12,000</u>		

(4)地域内外の住民との交流・移住促進

ア 婚活対策の拡大

H25	H26	H27	H28	H29	計
2,977	<u>2,946</u>	<u>3,201</u>	<u>3,201</u>	<u>3,201</u>	<u>15,526</u>

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	2-④-ア	婚活支援	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し各市町が婚活事業を実施する。	2,512	<u>2,245</u>	<u>2,500</u>	<u>2,500</u>	<u>2,500</u>	<u>12,257</u>		
三川町	2-④-ア	同上	同上	200	200	200	200	200	1,000		
庄内町	2-④-ア	同上	同上	265	<u>501</u>	<u>501</u>	<u>501</u>	<u>501</u>	<u>2,269</u>		
計				2,977	<u>2,946</u>	<u>3,201</u>	<u>3,201</u>	<u>3,201</u>	<u>15,526</u>		

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等
職員の人材育成

H25	H26	H27	H28	H29	計
800	800	800	800	800	4,000

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H25	H26	H27	H28	H29	計		
鶴岡市	3-①②-ア	合同研修・交流	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修及び外部人材の活用を連携して行う。	600	600	600	600	600	3,000		
三川町	3-①②-ア	同上	同上	100	100	100	100	100	500		
庄内町	3-①②-ア	同上	同上	100	100	100	100	100	500		
計				800	800	800	800	800	4,000		